docomo

キッズケータイ HW-02C

ISSUE DATE: '11.12

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

はじめに

「キッズケータイ HW-02C」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。
ご使用の前やご利用中に、この取扱説明書をお読みいただき、正しくお使いください。

FOMA 端末のご使用にあたって

- HW-02CはW-CDMA方式に対応しています。
- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（電話帳など）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- ディスプレイは、非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合があります。
  これは液晶ディスプレイの特性であり故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 本書は、ドコモUIMカードをご使用の場合で記載しています。

SIM ロック解除

本 FOMA 端末は SIM ロック解除に対応しています。SIM ロックを解除すると他社の SIM カードを使用することができます。

- SIMロック解除は、ドコモショップで受付をしております。
- 別途SIMロック解除手数料がかかります。
- 他社のSIMカードをご使用になる場合、ご利用になれるサービス、機能などが制限されます。当社では、一切の動作保証はいたしませんので、あらかじめご了承ください。
- SIMロック解除に関する詳細については、ドコモのホームページをご確認ください。

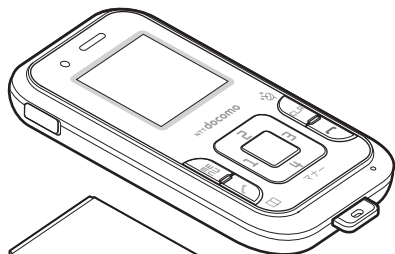
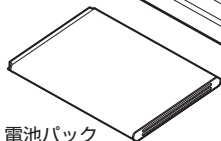
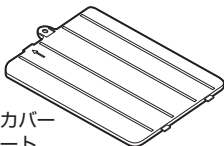
はじめて FOMA 端末をお使いになる方へ

本 FOMA 端末が「はじめての FOMA 端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。
FOMA 端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1.「安全上のご注意」を確認しましょう→P.8
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P.23、P.26
3. 電源を入れ初期設定を行い、自分の電話番号を確認しましょう→P.29、P.30、P.33
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P.18
5. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P.20
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P.21
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P.42、P.45

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。
●「取扱説明書（PDF ファイル）」ダウンロード
http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html
※ URL および掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

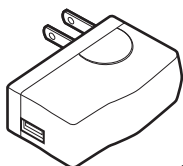
本体付属品および主なオプション品

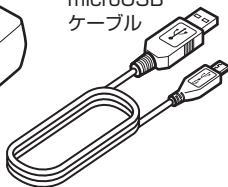
HW-02C
（リアカバー HW02、保証書含む）

保護カバー
HW01（ブルー）

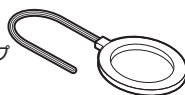
保護カバー
HW01（ピンク）

電池パック
HW02

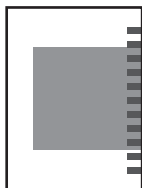
リアカバー
プレート

AC アダプタ HW01（保証書含む）

microUSB
ケーブル

AC アダプタ

試供品（取扱説明書含む）

ブザー用
ストラップ

リアカバープレート
止め工具

リアカバープレート止めネジ

取扱説明書（本書）

かんたん操作ガイド

＜主なオプション品＞

保護カバー HW01（イエロー）

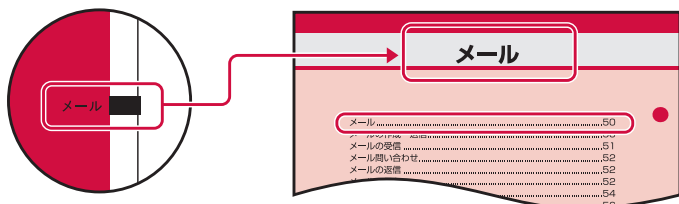
その他のオプション品→ P92

本書の見かた

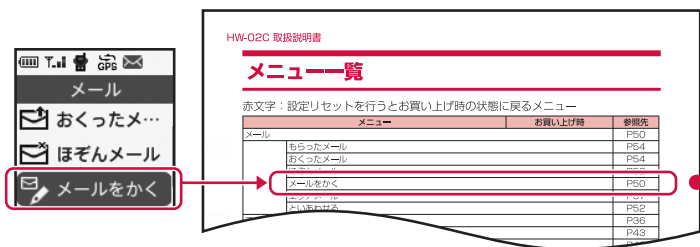
知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。
ここでは、「メールをかく」を例に記載ページを探す方法を説明します。

表紙インデックスから

→表紙

- 表紙のインデックスを使って、本書をめくりながら探します。

メニュー一覧から

→ P90

- 本 FOMA 端末の画面に表示されるメニューから探します。メニュー一覧には、お買い上げ時の設定内容を記載しています。

この他、下記のページからもすぐに探すことができます。

目次から

→ P6

- 機能ごとに章で分類された目次から探します。

主な機能から

→ P7

- 本 FOMA 端末の特徴である機能や新機能から探します。

索引から

→ P106

- 機能名や知りたい項目のキーワード、サービス名で探します。

機能の概要説明

関連操作の参照ページ

機能についての詳細説明や知っていると便利な情報

表紙のインデックスに対応したインデックス

ページ数

代表的な操作方法

操作に関する補足説明

HW-02C 取扱説明書

メール

本 FOMA 端末では、小さいお子さまでも簡単な操作でメールを送信できるように、31 種類の定形文が登録されています。

・ メール定形文一覧→ P92

お知らせ

・FOMA 端末の保存・登録件数→ P102

本 FOMA 端末で利用可能なメールサービスについて

本 FOMA 端末で使用できるメールは、携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信する SMS のみです。

お知らせ

・本 FOMA 端末では、i モードメールや E メールの送受信はできません。

んわちょう」画面で送信先を選択

3 「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

作成したメールを送信しないで［終話］を押すと、メールが保存されます。

保存したメールは、後で送信したり削除することができます。

・「ほぞんメール」→ P52

下記の操作でも操作 3 の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

・待受画面で［発信］⇒ 相手を選択するか、相手にカーソルを合わせて［機能］⇒「メールをおくる」を選択

ワンタッチ発信キーからメールを送る

ワンタッチ発信キーに登録されている相手にメールを送信します。

・ ワンタッチ発信キーに登録する → P37

1 ［1］［2］［3］［4］⇒「メールをおくる」を選択

2 「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」

を超えるときは、古い送信メールから上

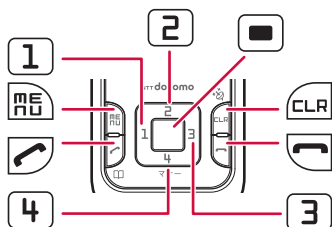
50

メール

※本文中のページとは内容が異なります。

- この『HW-02C 取扱説明書』の本文中においては、「HW-02C」を「FOMA 端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA 端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。
- FOMA カード（緑色･白色）をご利用のお客様は、本書内に記載しているドコモ UIM カードは FOMA カードと読み替えてください。
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

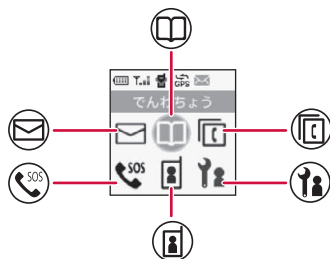
操作手順とキー表記

本書の操作の説明では、キーを押す動作をイラストで表現しています。
キーイラストは右図のように省略して表記しています。

操作手順の表記と意味は、次のとおりです。

表記例	意味
（3 秒以上）	を 3 秒以上押し続ける。
待受画面で ⇒ （メール）を選択 ⇒ 「もらったメール」を選択	待受画面で を押した後、ワンタッチ発信キーで 「メール」にカーソルを合わせて を押し、引き続き表示される画面で「もらったメール」にカーソルを合わせて を押します。

本書では （ワンタッチ発信キー）で項目にカーソルを合わせ、
（センターキー）を押す操作を「選択」と表記しています。

ディスプレイ表示と表記

本書の操作の説明では、メニューのディスプレイ表示を右図のようにイラストで表現しています。

ガイド表示領域

ガイド表示領域には、MENU または CLR を押して実行できる操作が表示されます。表示位置とキーは、右図のように対応しています。

本書では、ガイド表示領域に表示される操作の説明を、対応するキー（MENU または CLR）を使って説明しています。

ガイド表示領域に表示される操作は画面によって異なります。

目次

HW-02C の主な機能

本 FOMA 端末は、携帯電話を初めて使用されるお子さまでも、メールや電話を簡単に使用できる、キッズケータイです。防犯ブザーと GPS などのあんしん設定を搭載しています。

ワンタッチ発信キー

よく連絡する連絡先を 4 つのボタンに登録することができ、ワンタッチ発信キーを押すだけですぐに電話することができます。(⇒ P37)

メール

あらかじめ登録されている 33 種類の言葉から選ぶだけの、簡単操作でメールを送ることができます。(⇒ P50)

暗証番号

FOMA 端末本体の動作設定や電話帳の変更などを暗証番号で保護することができます。
(⇒ P60)

防犯ブザー

緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らし、自分の居場所を周囲に知らせることができます。また、防犯ブザーを鳴らしたとき、自動的に電話を発信したり、GPS 機能を利用して居場所を知らせたりすることができます。
(⇒ P62)

GPS

GPS 衛星から発信される電波を利用して、本 FOMA 端末の位置情報を取得します。取得した位置情報を利用して、今いる場所を確認することができます。
(⇒ P66)

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

表示	内容
⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害の発生が想定される」内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

記号	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

1. FOMA端末、電池パック、ACアダプタ、ドコモUIMカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

記号	内容
禁止	**高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で使用、保管、放置しないでください。** 火災、やけど、けがの原因となります。
禁止	**電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
分解禁止	**分解、改造をしないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
水濡れ禁止	**水や飲料水、ペットの尿などで濡らさないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
指示	**FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタは、NTTドコモが指定したものを使用してください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠警告

記号	内容
禁止	**強い力や衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

禁止	**充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）を接触させないでください。また、内部に入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。** 火災、やけどの原因となります。
指示	**ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前にFOMA端末の電源を切り、充電をしている場合は中止してください。** ガスに引火する恐れがあります。
指示	**使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。** ・ 電源プラグをコンセントから抜く。 ・ FOMA端末の電源を切る。 ・ 電池パックをFOMA端末から取り外す。 火災、やけど、けが、感電の原因となります。

⚠注意

禁止	**ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。** 落下して、けがの原因となります。
禁止	**湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの方法を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。** けがなどの原因となります。
指示	**乳幼児の手の届かない場所に保管してください。** 誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。
指示	**FOMA端末をアダプタに接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。** 充電しながら電話を長時間行うとFOMA端末や電池パック・アダプタの温度が高くなることがあります。 温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となったりする恐れがあります。

2. FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

禁止	**FOMA端末内のドコモUIMカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
指示	**航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器や医用電気機器に悪影響を及ぼす原因となります。 医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。 航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられます。 ただし、電波を出さない設定にすること等で、機内で携帯電話が使用できる場合には、航空会社の指示に従ってご使用ください。

指示	**スピーカーホンに設定して通話する際や、着信音が鳴っているときなどは、必ずFOMA端末を耳から離してください。** 音量が大きすぎると難聴の原因となります。 また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。
指示	**心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。** 心臓に悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**医用電気機器などを装着している場合は、医用電気機器メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。** 医用電気機器などに悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。** 電子機器が誤動作するなどの悪影響を及ぼす原因となります。 ※ご注意いただきたい電子機器の例 補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。
指示	**万が一、ディスプレイ部を破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。** ディスプレイ部には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。
指示	**防犯ブザーを鳴らす場合は、必ずFOMA端末を耳から離してください。** 難聴の原因となります。

⚠注意

禁止	**ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。** 本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。
禁止	**FOMA端末が破損したまま使用しないでください。** 火災、やけど、けが、感電の原因となります。
禁止	**誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、顔や手などの皮膚につけないでください。** 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。 液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。 また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。
指示	**自動車内で使用する場合、自動車メーカもしくは販売業者に、電波による影響についてご確認の上ご使用ください。** 車種によっては、まれに車載電子機器に悪影響を及ぼす原因となりますので、その場合は直ちに使用を中止してください。

指示	**お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。** ＜材質一覧＞

使用箇所	材質／表面処理
ボディ／リアカバー／防犯ブザースイッチ	PC＋ABS樹脂
ディスプレイ	アクリル樹脂
ボタン	プラスチック＋ラバー
端子キャップ	PC＋ABS樹脂
保護カバー	シリコン樹脂＋PUペイント
ブザー用ストラップ（試供品）	リング部：PC＋ABS樹脂 コード：ナイロン

指示	**ディスプレイを見る際は、十分明るい場所で、画面からある程度の距離をとってご使用ください。** 視力低下の原因となります。

3. 電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。

表示	電池の種類
Li-ion 00	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止	**端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
禁止	**電池パックをFOMA端末に取り付けるときは、電池パックの向きを確かめ、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
禁止	**火の中に投下しないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
禁止	**釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
指示	**電池パック内部の液体などが目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。** 失明の原因となります。

⚠警告

禁止	**落下による変形や傷などの異常が見られた場合は、絶対に使用しないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
指示	**電池パックが漏液したり、異臭がしたりするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。** 漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
指示	**ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。

⚠注意

禁止	**一般のゴミと一緒に捨てないでください。** 発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止	**濡れた電池パックを使用したり充電したりしないでください。** 電池パックの発火、破裂、発熱、漏液の原因となります。
指示	**電池パック内部の液体などが漏れた場合は、顔や手などの皮膚につけないでください。** 失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。 液体などが目や口に入った場合や、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにきれいな水で洗い流してください。 また、目や口に入った場合は、洗浄後直ちに医師の診断を受けてください。

4. アダプタの取り扱いについて

⚠警告

禁止	**microUSB ケーブルが傷んだら使用しないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**AC アダプタは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**雷が鳴り出したら、アダプタには触れないでください。** 感電の原因となります。
禁止	**コンセントにつないだ状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**microUSB ケーブルの上に重いものをのせないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
禁止	**コンセントに AC アダプタを抜き差しするときは、金属製ストラップなどの金属類を接触させないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
濡れ手禁止	**濡れた手で microUSB ケーブル、コンセントに触れないでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**指定の電源、電圧で使用してください。** **また、海外で充電する場合は、海外で使用可能な AC アダプタで充電してください。** 誤った電圧で使用すると火災、やけど、感電の原因となります。 AC アダプタ：AC100 V
指示	**電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**AC アダプタをコンセントに差し込むときは、確実に差し込んでください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
指示	**電源プラグをコンセントから抜く場合は、microUSB ケーブルを無理に引っ張らず、アダプタを持って抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。
電源プラグを抜く	**万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください。** 火災、やけど、感電の原因となります。

電源プラグを抜く	**お手入れの際は、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。** 火災、やけど、感電の原因となります。

5. ドコモUIMカードの取り扱いについて

⚠注意

指示	**ドコモUIMカードを取り外す際は切断面にご注意ください。** けがの原因となります。

6. 医用電気機器近くでの取り扱いについて

本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

⚠警告

指示	**医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。** ・ 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。 ・ 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。 ・ ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。 ・ 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
指示	**満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切ってください。** 電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。
指示	**植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器などの医用電気機器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。** 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

指示	**自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。** 電波により医用電気機器の作動に悪影響を及ぼす原因となります。

取り扱い上のご注意

1. 共通のお願い

- **水をかけないでください。**
  FOMA 端末、電池パック、アダプタ、ドコモ UIM カードは防水性能を有しておりません。風呂場などの湿気の多い場所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し故障の原因となります。調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- **お手入れは乾いた柔らかい布 (めがね拭きなど) で拭いてください。**
  - 乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。
  - ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- **端子は時々乾いた綿棒などで清掃してください。**
  端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れたり充電不十分の原因となったりしますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。
  また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- **エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。**
  急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- **FOMA 端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。**
  多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。
  また、充電端子に充電コネクタを差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- **ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。**
  傷つくことがあり故障、破損の原因となります。
- **電池パック、アダプタに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。**

2. FOMA 端末についてのお願い

- **極端な高温、低温は避けてください。**
  温度は 5 ℃～ 35 ℃、湿度は 5% ～ 85%の範囲でご使用ください。
- **一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、悪影響を及ぼす原因となりますので、なるべく離れた場所でご使用ください。**
- **お客様ご自身で FOMA 端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
  万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- **FOMA 端末を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。
- **充電端子に外部接続端子を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。**
  故障、破損の原因となります。

- **使用中、充電中、FOMA 端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **通常は充電端子キャップを閉じた状態でご使用ください。**
ほこり、水などが入り故障の原因となります。
- **リアカバーを外したまま使用しないでください。**
電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- **磁気カードなどを FOMA 端末に近づけないでください。**
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。
- **FOMA 端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。**
強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。

3. 電池パックについてのお願い

- **電池パックは消耗品です。**
使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。**
- **電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。**
- **電池パックを保管される場合は、次の点にご注意ください。**
  - フル充電状態（充電完了後すぐの状態）での保管
  - 電池残量なしの状態（本体の電源が入らない程消費している状態）での保管

  電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。
  保管に適した電池残量は、目安として電池アイコン表示が 2 本、または残量が 40 パーセント程度の状態をお勧めします。

4. AC アダプタについてのお願い

- **充電は、適正な周囲温度（5℃～ 35℃）の場所で行ってください。**
- **次のような場所では、充電しないでください。**
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- **充電中、アダプタが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。**
- **抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。**
- **強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。**
故障の原因となります。

5. ドコモ UIM カードについてのお願い

- **ドコモ UIM カードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないでください。**
- **他の IC カードリーダー / ライターなどにドコモ UIM カードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。**
- **IC 部分はいつもきれいな状態でご使用ください。**
- **お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。**
- **お客様ご自身で、ドコモ UIM カードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。**
万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

- **環境保全のため、不要になったドコモUIMカードはドコモショップなど窓口にお持ちください。**
- **ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。**
  データの消失、故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。**
  故障の原因となります。
- **ドコモUIMカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。**
  故障の原因となります。

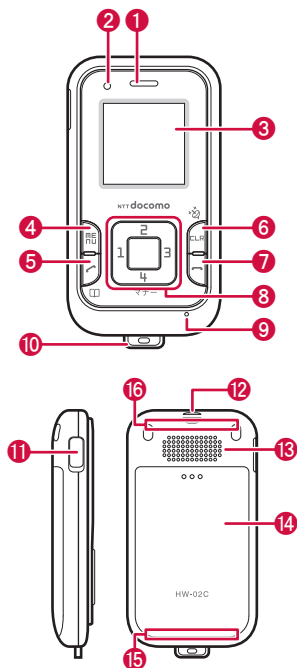
6. 保護カバーについてのお願い

- **保護カバーを強く引っ張ると破れの原因となります。 取り扱いには十分ご注意ください。**
- **FOMA端末に装着するときは、FOMA端末および保護カバーに付着しているほこりなどを取り除いてから装着してください。**
  ほこりなどが付着した状態で保護カバーを装着すると、FOMA端末に傷がつく場合があります。
- **保護カバーは、外部からの衝撃に対して損傷を完全に防止するものではありません。**
- **鋭利なものに近づけたり、傷をつけたりしないでください。**
- **水周りおよび砂やほこりなどの多いところで使用する際はご注意ください。**
  保護カバーを装着している場合でも、露出している箇所より水や砂、ほこりなどが浸入する場合があります。

7. 注意

- **改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。**
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として「技適マーク㊂」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。
  技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- **自動車などを運転中の使用にはご注意ください。**
  運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
  ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合は対象外となります。
- **基本ソフトウェアを不正に変更しないでください。**
  ソフトウェアの改造とみなし故障修理をお断りする場合があります。

ご使用前の確認

各部の名称と機能

① **受話口**
相手の声をここから聞く

② **ランプ**
充電中：点灯
電話着信：点滅
位置提供要求：点滅

③ **ディスプレイ**
ディスプレイの見かた→ P20

④ [MENU] **MENU キー**
メニューの表示

⑤ [電話] **電話開始キー**
着信中→電話開始
待受中→電話帳の表示

⑥ [CLR] **クリアキー**
メニュー表示中→文字の消去／1 つ前の画面に戻る
待受中→3秒以上押す：現在地通知

⑦ [電源] **電源／終了キー**
通話／操作中の機能の終了
約 3 秒以上押す：電源を入れる／切る
着信中→着信拒否
通話中→通話終了
メニュー表示中→待受画面に戻る

⑧ **マルチカーソルキー**
[1][2][3][4] **ワンタッチ発信キー**
登録されている連絡先に電話をかける
メニュー表示中：カーソルの移動
待受中→ [4] を 3 秒以上押す：マナーモードの起動／解除
[■] **センターキー（中央のボタン）**
メニュー表示中→操作の実行／決定
待受中→ 3 秒以上押す：キーロックの起動／解除

⑨ **送話口**
自分の声をここから送る
※ 通話中に指でふさがないでください。

⑩ **防犯ブザースイッチ（ブザー用ストラップ取付口）**

⑪ **充電端子**

⑫ **ストラップ取付口**

⑬ **スピーカー**
着信音や防犯ブザー音などがここから聞こえる

⑭ **リアカバー**

⑮ **FOMA アンテナ※**

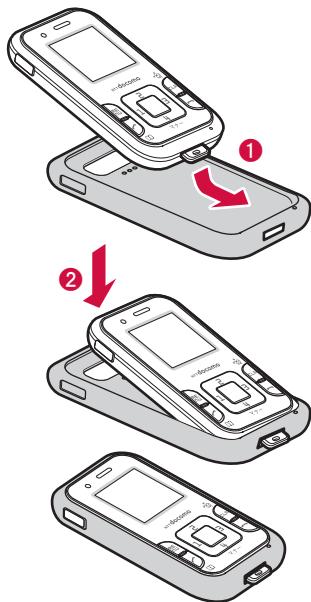
⑯ **GPS アンテナ※**
※ アンテナは、本体に内蔵されています。アンテナ付近を手で覆うと品質に影響を及ぼす場合があります。

保護カバーの取り付け／取り外し

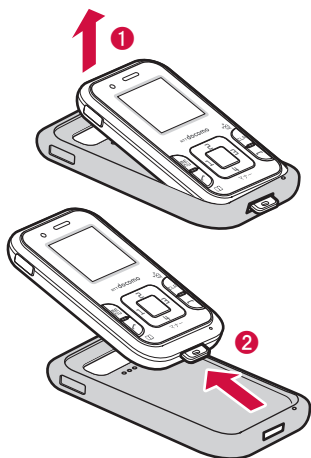
本製品には、保護カバーが付属されています。本製品を傷などから保護するために、保護カバーを併用されることをお勧めいたします。

◆取り付けかた

① 保護カバーと本 FOMA 端末の向きを合わせる

② 防犯ブザースイッチを保護カバー下部の穴に通して保護カバーに取り付ける

◆取り外しかた

① ブザー用ストラップ（試供品）を取り外した状態で、矢印の方向に本 FOMA 端末の受話口側から外す

② 矢印の方向に本 FOMA 端末を外す

お知らせ

- 保護カバーの取り付け／取り付外しをするときは、ブザー用ストラップ（試供品）を取り外してください。
- 保護カバーを取り付けるときは、FOMA 端末および保護カバーに付着しているほこりなどを取り除いてから装着してください。ほこりなどが付着した状態で保護カバーを装着すると、FOMA 端末に傷がつく場合があります。

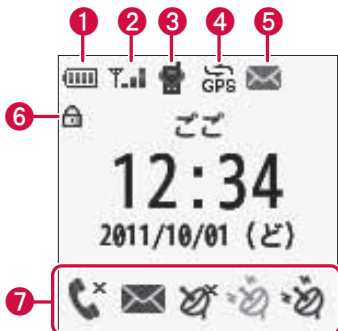
ディスプレイの見かた

電源 ON にすると、ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。
待受画面中央には、日時が表示されます。
ディスプレイの上下には本 FOMA 端末の状態を示すアイコンが表示されます。
一定時間操作が無い場合、ディスプレイが消灯します。いずれかのボタンを押すと、点灯します。

お知らせ

- ご購入後、初めて電源を ON にしたときは、初期設定を行ってください。
  - ・初期設定→ P29

状態表示アイコンの見かた

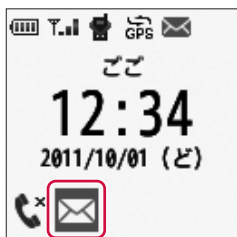
ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。

① 電池アイコン→ P28
② アンテナアイコン→ P29
圏外表示→ P29
ドコモ UIM カードエラー → P22
③ マナーモード中→ P87
④ 位置提供設定中→ P67
位置提供起動中→ P67
⑤ 未読メールあり→ P51
未読エリアメールあり → P57
⑥ キーロック中→ P61
⑦ 通知アイコン
不在着信あり→ P46
新着メールあり→ P51
位置情報送信に失敗→ P69
位置提供エラー→ P69
位置提供成功→ P69

待受画面下部に表示されているアイコンを選択する

待受画面下部には、次の場合にアイコンが表示されます。

- 着信があった場合
- メールを受信した場合
- 位置提供が行われた場合

アイコンを選択する

1 待受画面で [■] ⇒ 待受画面下部に表示されている「メール」「不在着信」「位置提供の可否」アイコンにカーソルを移動

選択するアイコンを変更する場合は、[1] または [3] でカーソルを移動します。

2 アイコンが選択されている状態で [■]
電話の相手を表示したり、メールを見ることができます。
選択を解除する場合は、アイコンが選択されている状態で [CLR] または [⌒] を押します。

メニューの選択

メニューの操作

待受中に [MENU] を押すと、メニューが表示されます。
[1][2][3][4]：カーソルを移動します。
[■]：選択されているメニューや項目を実行します。
[⌒]：待受画面に戻ります。
[CLR]：1 つ前のメニューに戻ります。

ガイド表示領域の見かた

「設定／サービス」画面下部のガイド表示領域には、[MENU] と [CLR] を押して実行できる操作が表示されます。

- 「設定／サービス」画面の表示→P60

ドコモUIMカード

ドコモUIMカードとは、電話番号などのお客様情報を記録できるカードです。

- ご利用されるドコモUIMカードにPINコードを入力するように設定されている場合は、あらかじめ他のFOMA端末にドコモUIMカードを挿入して、PINコード入力の設定を解除してください。
- ドコモUIMカードを正しく取り付けていない場合や、ドコモUIMカードに異常がある場合は、画面に が表示され電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- 自局電話番号はドコモUIMカードに保存されます。ドコモUIMカードを差し替えると、差し替えたドコモUIMカードに保存されている自局電話番号が有効になります。
- 本FOMA端末では、FOMAカード（青色）はご使用になれません。FOMAカード（青色）をお持ちの場合には、ドコモショップ窓口にてお取替えください。
- ドコモUIMカードの取り扱いについての詳細は、ドコモUIMカードの取扱説明書をご覧ください。

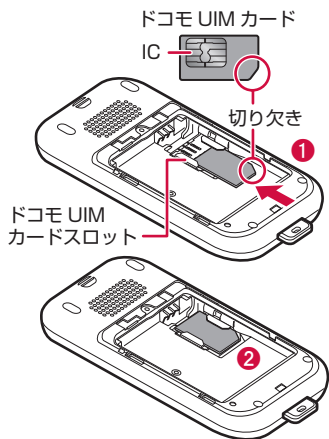
取り付け／取り外し

- 電源を切ってから本FOMA端末を手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- あらかじめリアカバーと電池パックを取り外してください。
  - 電池パックの取り付け／取り外し
    →P23

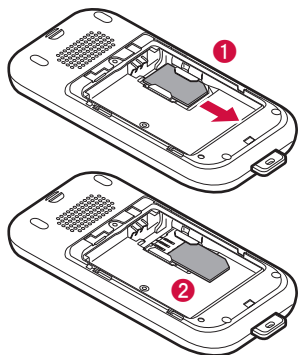
◆取り付けかた

① IC面を下にして、図のような向きでドコモUIMカードをドコモUIMカードスロットにのせる

② カードを奥まで挿入する

ドコモUIMカード
IC
切り欠き
ドコモUIM
カードスロット

◆取り外しかた

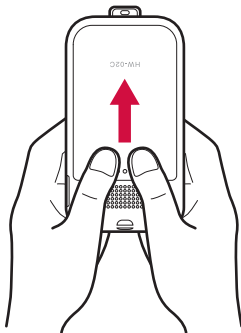
① ドコモUIMカードを矢印の方向にスライドする

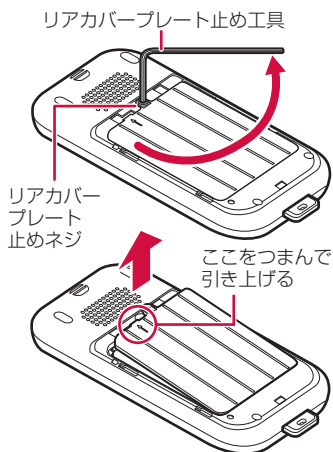
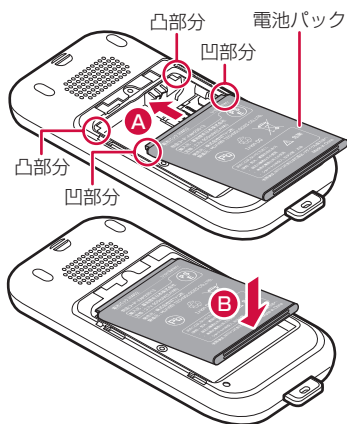
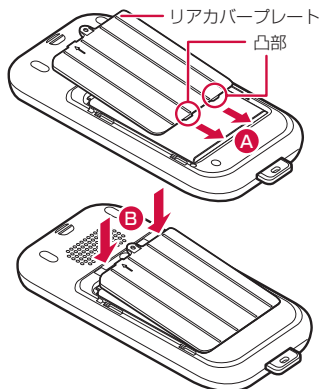
② ゆっくりと取り外す

お知らせ

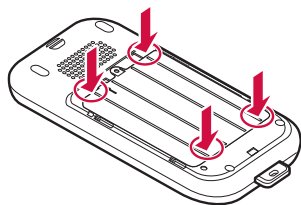
- ドコモUIMカードの無理な取り付けや取り外し、ドコモUIMカードが斜めに挿入された状態での電池パックの取り付けなどによって、ドコモUIMカードやスロットが壊れる場合がありますのでご注意ください。

電池パックの取り付け／取り外し

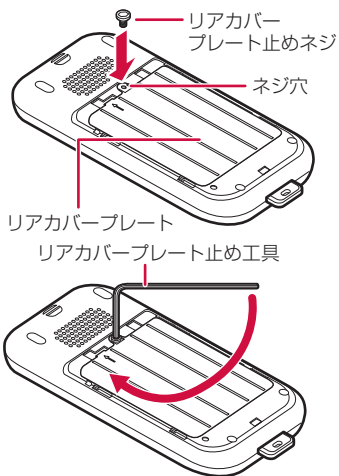
◆取り付けかた

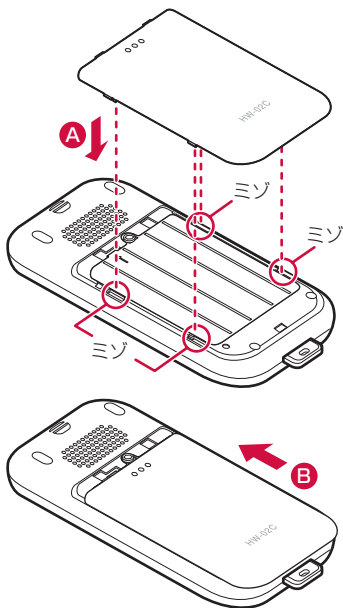
① リアカバーを指で押しながら、矢印の方向に約2mmスライドさせて外す

② リアカバープレート止めネジ穴に、付属のリアカバープレート止め工具（試供品）を差し込んで、リアカバープレート止めネジ（試供品）を外し、リアカバープレートの矢印の箇所から持ち上げて開く

- お買い上げ時には、ネジは取り付けられておりません。

③ 電池パックの製品名が書かれている面を上にして、電池パックの凹部分を本FOMA端末の凸部分に合わせて矢印Aの方向に差し込み、矢印Bの方向に押し付けてはめ込む

④ リアカバープレートの凸部を、本FOMA端末のミゾに合わせて矢印Aの方向に差し込み、矢印Bの方向に押し付けてはめ込む

リアカバープレート
凸部
A
B

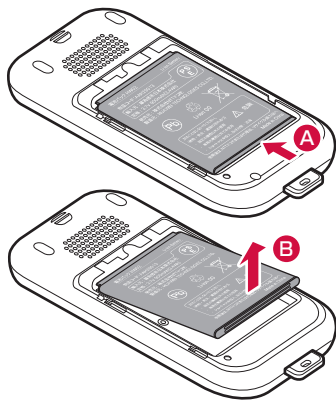
⑤ ○部分をしっかりと押し、本FOMA端末とすき間がないことを確認する

⑥ リアカバープレート止めネジをネジ穴にセットし、リアカバープレート止め工具を差し込んで、ネジを取り付ける

- 無理な力をかけて、強く締めすぎないでください。

リアカバープレート止めネジ
ネジ穴
リアカバープレート
リアカバープレート止め工具

⑦ リアカバーの4箇所のツメを本FOMA端末のミゾに合わせて、本FOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように矢印Aの方向に押さえながら矢印Bの方向にスライドさせて取り付ける

ミゾ
ミゾ
ミゾ

◆取り外しかた

電池パックの取り外しは、電源を切ってから行ってください。
電池パックを取り外すと、日付・時刻表示が消去される場合があります。

① 取り付けかたの操作①～②を行う
② 矢印Aの位置に指をかけて、矢印Bの方向に電池パックを持ち上げて取り外す

お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、本FOMA端末の端子が壊れる可能性があるためご注意ください。
- 本書記載以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、無理な力を加えると、本FOMA端末やリアカバーが破損する恐れがあります。
- 電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。
- 環境保全のため、不要になった電池パックはNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などに持ちください。

Li-ion 00

電池パックの寿命

電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1 回で使える時間が次第に短くなっていきます。
1 回の充電で、使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいてますので、早めに交換することをおすすめいたします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが、問題ありません。
充電しながら電話などを長時間行うと、電池パックの寿命が短くなることがあります。

充電

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用の AC アダプタで充電してからお使いください。

- 本 FOMA 端末を使用するときは、必ず電池パック HW02 をご利用ください。

充電時間（目安）

AC アダプタ HW01（付属品）	約 150 分

本 FOMA 端末の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

充電後の使用可能時間

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	静止時：約 400 時間 移動時：約 350 時間
連続通話時間	約 220 分

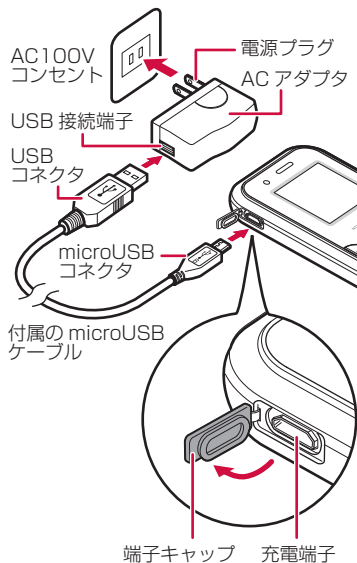
- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間は、電波を正常に受信できる状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。
- AC アダプタ HW01 は AC 100V から 240V まで対応していますが、AC アダプタのプラグ形状は AC100V 用（国内仕様）です。

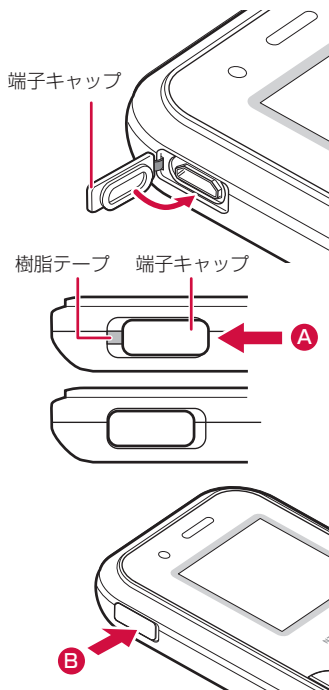
充電する

電池パック単体での充電はできません。本 FOMA 端末に電池パックを取り付けて充電します。

① 付属の microUSB ケーブルの USB コネクタを、(USBマーク)の刻印面を上にして AC アダプタの USB 接続端子に水平に差し込む

② FOMA 端末の端子キャップを開き、microUSB ケーブルの microUSB コネクタを、(USBマーク)の刻印面を上にして FOMA 端末の充電端子に水平に差し込む

③ AC アダプタのプラグを AC100V コンセントへ差し込む

④ 充電が終わったら、ACアダプタをコンセントから抜き、microUSBケーブルのmicroUSBコネクタを本FOMA端末から水平に引き抜く

⑤ 端子キャップを閉じるときは、矢印Aの方向に端子キャップを移動して、樹脂テープを本体に収めた後、矢印Bの方向に端子キャップを押して、しっかりはめる

お知らせ

- ACアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずコネクタ部を持って水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

充電中の動作

充電が開始されると充電確認音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイの電池アイコンがアニメーション表示します。

充電が終わるとランプが消灯し、電池アイコンのアニメーション表示も止まります。

お知らせ

- 下記の場合、充電確認音は鳴りません。
  - ・電源 OFF のとき
  - ・電源 ON 直後にメロディが鳴っているとき
  - ・電源 OFF 操作中にメロディが鳴っているとき
  - ・通話中
  - ・マナーモード中
  - ・防犯ブザー鳴動時
  - ・電話着信音の鳴動時
  - ・メール着信音の鳴動時
  - ・GPS 測位鳴動音の鳴動時
- 充電を開始するとランプが点灯します。ただし、環境によっては充電開始時にすぐに点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、本 FOMA 端末を一度 AC アダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。
- 充電中に電話がかかってきたり、位置提供要求があると、一時的にランプが点滅します。これらの理由以外で充電中にランプが点滅する場合→「故障かな？と思ったら」（P93）
- 十分に充電されている電池パックを本 FOMA 端末に取り付けて AC アダプタに接続すると、ランプが一瞬点灯してすぐに消灯する場合がありますが、故障ではありません。

電池残量確認

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

十分残っています。

少し少なくなっています。

少なくなっています。

かなり少なくなっています。

（赤） 電池がありません。充電してください。

電池が切れそうになると

アラームとともに、電池がない旨のメッセージが表示されます。
すみやかに充電してください。

お知らせ

- 使用状況によっては電池残量の表示が大きく変動することがあります。

電源 ON ／ OFF

電源 ON

1 [終話キー]（3 秒以上）
ウェイクアップ画面が表示された後、待受画面が表示されます。

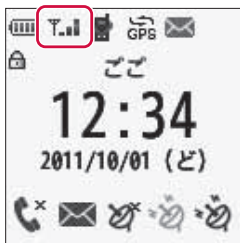
お知らせ

- ご購入後、初めて電源を ON にしたときは、初期設定を行ってください。
  - ・初期設定→ P29

◆受信レベル

ディスプレイ上部に表示されるアンテナアイコンで、電波の受信レベルの目安が確認できます。

ここ
12:34
2011/10/01（ど）

強 ←→ 弱

圏外 ▶ サービスエリア外や電波の届かない所

電源 OFF

1 [終話キー]（3 秒以上）

お知らせ

- 電源 OFF 検索を「ON」に設定しているときは、本操作で電源を切ると、現在地通知が行われます。
- 防犯ブザースイッチが引き出されているときは、電源を OFF にすることができません。

完全電源 OFF

電源 OFF 検索を「ON」に設定しているときでも、電源 OFF 検索による現在地通知を行わずに電源を切ることができます。

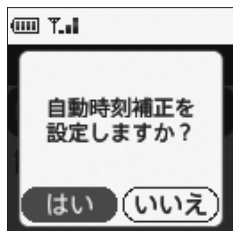
1 **待受画面で [メニュー] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択**

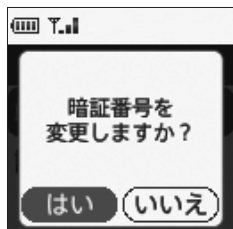
2 **暗証番号を入力 ⇒ [メニュー]（確定）を押す**

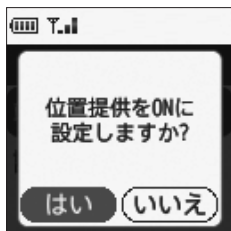
3 **「設定／サービス」画面で「電源 OFF」を選択**

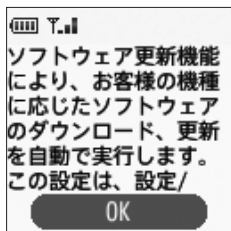
初期設定

ご購入後、初めて電源を ON にしたときは、初期設定を行ってください。
設定した内容は、初期設定後でも変更できます。

1 **「自動時刻補正」画面で「はい」または「いいえ」を選択**

・「はい」を選択した場合、自動的に日時が設定されます。
・「いいえ」を選択した場合は、日時を手動で設定します。
・「日付時刻設定」→P30

2 「暗証番号設定」画面で「はい」または「いいえ」を選択

・「はい」を選択した場合、出荷時の暗証番号から、任意の暗証番号に変更することができます。「新しい暗証番号」画面に新しい暗証番号を入力します。
・「いいえ」を選択した場合は、出荷時の暗証番号から変更されません。
・「暗証番号」→P60

3 「位置提供設定」画面で「はい」または「いいえ」を選択

・「位置提供」→P67

4 ソフトウェアの自動更新確認画面で「OK」を選択

・「ソフトウェアの自動更新」→P100

日付時刻設定

時刻を自動で補正するように設定するか、日付・時刻などを自分で入力します。自動で補正するように設定すると、ドコモのネットワークからの時刻情報を受信した場合に補正します。

自動時刻補正

時刻の補正を自動で行うかどうかを設定します。

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス)を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「時計設定」を選択 ⇒ 「手動補正　自動補正に切替」を選択

時計設定
手動補正
自動補正に切替
日付

5 確認画面で「はい」を選択

設定した内容を保存しない場合は、「いいえ」を選択するか [CLR] を押します。

お知らせ

- 「自動補正」に設定すると、自動的に日付と時刻が設定されます。「時計設定」画面で「日付」「時刻」を選択することができません。
- 自動時刻補正を「自動補正」に設定した場合は、電源を入れたときに時刻の補正を行います。電源を入れてからしばらくたっても補正されない場合は、電源を入れ直してください。ただし、ドコモUIMカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、電源を入れ直しても補正は行われません。
- 自動時刻補正を「自動補正」に設定していても、数秒程度の誤差が生じる場合があります。

手動時刻補正

時刻を手動で設定します。

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「時計設定」を選択 ⇒ 「自動時刻補正　手動補正に切替」を選択

時計設定
自動時刻補正
手動補正に切替
日付

5 確認画面で「はい」を選択

6 「時計設定」画面で「日付」を選択

時計設定
手動補正
日付
2011/01/01

日付
年 月 日
2011 01 01

7 「年」の項目を 2 または 4 で設定 ⇒ 3 で「月」にカーソルを移動

8 「月」の項目を 2 または 4 で設定 ⇒ 3 で「日」にカーソルを移動

9 「日」の項目を 2 または 4 で設定 ⇒ ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

10「時計設定」画面で「時刻」を選択

時計設定
日付
時刻
12:34

時刻
時 分
12 34

11「時」の項目を 2 または 4 で設定 ⇒ 3 で「分」にカーソルを移動

12「分」の項目を 2 または 4 で設定 ⇒ ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

お知らせ

- 待受画面では 12 時間表記（ごぜん／ごご）で表示されます。
- 自動時刻補正を「手動補正」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外したり、電池が切れたまま長い間充電しなかったりすると、日付・時刻が消去される場合があります。その場合は、充電した後にもう一度日付・時刻の設定を行ってください。

電話番号表示

自分の電話番号を確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）を確認します。

1　待受画面で［MENU］⇒［自分の番号］（じぶんのばんごう）を選択

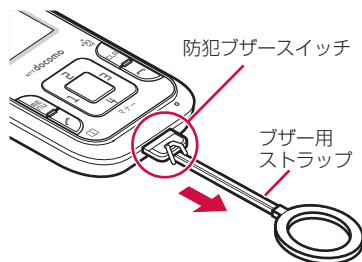
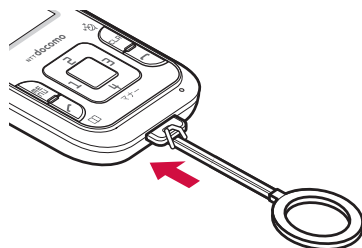
じぶんのばんごう

防犯ブザーについて

緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。また、防犯ブザーを鳴らしたとき、自動的に電話を発信したり、GPS 機能を利用して居場所を知らせたりできます。

- 防犯ブザー→ P62

防犯ブザーを鳴らす

1　防犯ブザースイッチを引き出す（ブザー用ストラップ（試供品）を引っ張る）

防犯ブザースイッチ

ブザー用ストラップ

防犯ブザーを止める

1　防犯ブザースイッチを戻す

電話帳

FOMA端末で使用できる電話帳

本FOMA端末では、FOMA端末電話帳から、電話の発信や、メールの送信などが行えます。
登録内容は次のとおりです。

項目	FOMA端末電話帳
電話帳登録件数	最大10件※

※：設定できる項目は電話番号のみです。

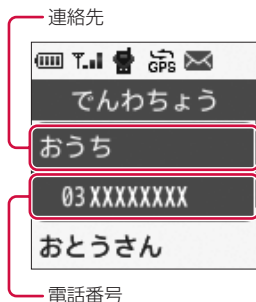
- お客様のドコモUIMカードを他のFOMA端末に挿入すると、ドコモUIMカード内の電話帳データを利用できます。

電話帳を表示する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [📖]（でんわちょう）を選択するか、待受画面で [📞]

2 「でんわちょう」画面から相手を選択

連絡先

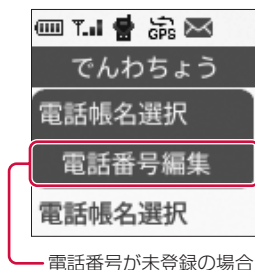
でんわちょう
おうち
03XXXXXXXX
おとうさん

電話番号

電話帳登録

電話番号をFOMA端末電話帳に登録します。
電話帳に登録する相手の名前には、あらかじめ本FOMA端末に登録されている「おうち」「おとうさん」「おかあさん」「がっこう」など、26種類の電話帳名から選択します。
・電話帳名の一覧→P92

お知らせ

- ドコモUIMカードから電話帳を復元した場合は、連絡先名も上書きされます。

電話帳に登録する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択

4 「電話帳」を選択 ⇒ 「電話帳編集」を選択

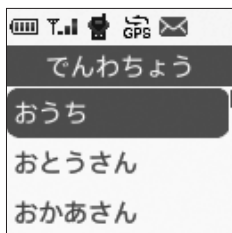
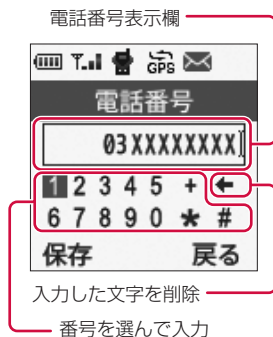
でんわちょう
電話帳名選択
電話番号編集
電話帳名選択

電話番号が未登録の場合

5 登録する電話帳を選択 ⇒ 電話帳名を選択

でんわちょう
おうち
おとうさん
おかあさん

6 電話番号を入力

電話番号表示欄
電話番号
03XXXXXXXX
1 2 3 4 5 + ←
6 7 8 9 0 ＊ #
保存 戻る
入力した文字を削除
番号を選んで入力

電話番号をワンタッチ発信キー（1 2 3 4）で番号を選択して、■ で入力します。数字の他「+」「#」「＊」を入力できます。文字を削除するときは「←」を選択します。

7 MENU（保存）を押す

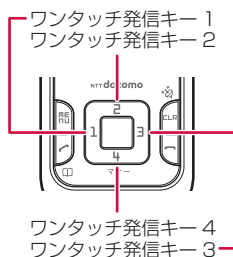
設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

お知らせ

- 電話番号を入力しないと、MENU（保存）を押しても電話帳を登録できません。

ワンタッチ発信キーに登録する

ワンタッチ発信キーに連絡先を登録することで、簡単な操作で電話やメールを発信することができます。

ワンタッチ発信キー 1
ワンタッチ発信キー 2
ワンタッチ発信キー 4
ワンタッチ発信キー 3

お知らせ

- ワンタッチ発信キーには、電話帳に登録されている連絡先のみ登録することができます。

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択

4 「電話帳」を選択 ⇒「ワンタッチ発信キー」を選択

5 登録するキーを選択 ⇒ 「でんわちょう」画面から登録する相手を選択

他のキーにも登録する場合は、操作 5 を繰り返します。

ドコモUIMカードに電話帳を保存

電話帳に登録されている電話番号を、ドコモUIMカードに保存することができます。

1 待受画面でMENU ⇒ （設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択
4 「電話帳」を選択 ⇒ 「保存（ドコモUIMカードに）」を選択
5 確認画面で「はい」を選択

お知らせ

- 保存するとドコモUIMカード内の電話帳データは全て消去され、FOMA端末内の電話帳データに上書き保存されます。

ドコモUIMカードから復元する

1 待受画面でMENU ⇒ （設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択
4 「電話帳」を選択 ⇒ 「復元（ドコモUIMカードから）」を選択
5 確認画面で「はい」を選択

お知らせ

- 復元するとFOMA端末内の電話帳データは消去され、ドコモUIMカード内の電話帳データに上書き保存されます。

着信履歴から電話帳に登録

1 待受画面でMENU ⇒ （りれき）を選択
2 「うけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択
3 MENUを押す ⇒ 「電話帳に登録」を選択
4 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
5 「でんわちょう」画面で登録先を選択
6 電話帳名を選択 ⇒ MENU（保存）を押す

操作2の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせてMENUを押して、「電話帳に登録」を選択しても、操作4の「暗証番号入力」画面が表示されます。

電話帳修正

「電話機能」から修正する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定] （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択

4 「電話帳」を選択 ⇒ 「電話帳編集」を選択

5 編集する相手を選択 ⇒ 電話帳名を選択 ⇒ 電話番号を入力

電話番号をワンタッチ発信キー（[1][2][3][4]）で番号を選択して、[■] で入力します。数字の他「+」「#」「*」を入力できます。文字を削除するときは「⬅」を選択します。

6 [MENU] （保存）を押す

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

「でんわちょう」から修正する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [📖] （でんわちょう）を選択

2 「でんわちょう」画面から相手を選択 ⇒ [MENU] を押す

3 「なおす」を選択

4 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

5 電話帳名を選択 ⇒ 電話番号を修正 ⇒ [MENU] （保存）を押す

操作２の「でんわちょう」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] を押して、「なおす」を選択しても、操作４の「暗証番号入力」画面が表示されます。

電話帳削除

1 待受画面で [MENU] ⇒ [📖] （でんわちょう）を選択

2 「でんわちょう」画面から相手を選択 ⇒ [MENU] を押す

3 「けす」を選択 ⇒ 確認画面で「はい」を選択

4 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

操作２の「でんわちょう」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] を押して、「けす」を選択 ⇒ 「はい」を選択しても、電話帳を削除できます。

電話

電話のかけかた

本 FOMA 端末では、あらかじめ電話帳に登録されている連絡先にのみ、電話をかけることができます。

- 電話帳登録→ P36
- ワンタッチ発信キーに登録する → P37

電話帳から電話をかける

1 **待受画面で [発信] ⇒ 相手にカーソルを合わせる ⇒ [発信]**

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 待受画面で [発信] ⇒ 相手を選択 ⇒ [■] または [発信]
- 待受画面で [発信] ⇒ 相手を選択 ⇒ [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択
- 待受画面で [発信] ⇒ 相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択

メニューから電話をかける

1 **待受画面で [MENU] ⇒ [📖]（でんわちょう）を選択**

2 **「でんわちょう」画面から相手を選択 ⇒ [MENU] を押す**

3 **「でんわをかける」を選択**

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作 2 の「でんわちょう」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押す ⇒「でんわをかける」を選択
- 操作 2 の「でんわちょう」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [発信] を押す

ワンタッチ発信キーから電話をかける

ワンタッチ発信キー 1 ～ 4 に連絡先を登録しておくことで、かんたんに電話をかけることができます。

- ワンタッチ発信キーに登録する → P37

1 **待受画面で [1] [2] [3] [4] のいずれかを押す ⇒「でんわをかける」を選択**

お知らせ

- 画面に「でんわちゅう」と表示された時点から通話料金がかかります。

通話が終わったら

1 **通話が終わったら [終話]**

緊急電話

本 FOMA 端末では、あらかじめ登録されている緊急通報先に、電話をかけることができます。

- けいさつ（110 番）
- けが、かじ（119 番）
- うみのじこ（118 番）

緊急電話をかけると、電話発信および通話しながら、あらかじめ登録されている緊急通報受理機関へ現在地通知を行います。

- 現在地通知→ P69

緊急電話をかける

1 待受画面で ⇒ （きんきゅうでんわ）を選択

2 通報先を選択するか、通報先にカーソルを合わせて

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作２の「きんきゅうでんわ」画面で通報先にカーソルを合わせる ⇒ を押す ⇒ 「でんわをかける」を選択

お知らせ

- 電波を受信できない場所では、「きんきゅうでんわ」を選択することはできません。
- ドコモ UIM カードが未挿入の場合、緊急通報をかけられません。

着信履歴

着信履歴を見る

1 待受画面で ⇒ (りれき)を選択

2 「うけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

下記の操作でも着信履歴を見ることができます。

- 操作２の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ を押して、「みる」を選択

着信履歴から電話をかける

1 待受画面で ⇒ (りれき)を選択

2 「うけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 を押す ⇒ 「でんわをかける」を選択

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作２の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ を押す ⇒「でんわをかける」を選択
- 操作２の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ を押す

お知らせ

- 電話帳に登録されていない番号には、電話をかけることはできません。

着信履歴からメールを送る

1 待受画面で [MENU] ⇒ (りれき)を選択

2 「うけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 [MENU] を押す ⇒ 「メールをおくる」を選択

4 「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作４の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

- 操作２の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押して、「メールをおくる」を選択

お知らせ

- 電話帳に登録されていない番号には、メールを送ることはできません。

着信履歴から削除する

1 待受画面で [MENU] ⇒ (りれき)を選択

2 「うけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 [MENU] を押す ⇒ 「けす」を選択

4 確認画面で「はい」を選択

下記の操作でも操作４の確認画面が表示されます。

- 操作２の「うけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押して、「けす」を選択

発信履歴

発信履歴を見る

1 待受画面で [MENU] ⇒ (りれき)を選択

2 「かけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

下記の操作でも発信履歴を見ることができます。

- 操作２の「かけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押して、「みる」を選択

発信履歴から電話をかける

1 待受画面で [MENU] ⇒ (りれき)を選択

2 「かけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 [MENU] を押す ⇒ 「でんわをかける」を選択

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作２の「かけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押す ⇒「でんわをかける」を選択
- 操作２の「かけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [発信] を押す

発信履歴からメールを送る

1 待受画面で [MENU] ⇒ [履歴]（りれき）を選択

2 「かけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 [MENU] を押す ⇒ 「メールをおくる」を選択

4 「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作４の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

- 操作２の「かけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押す ⇒ 「メールをおくる」を選択

お知らせ

- 電話帳に登録されていない番号には、メールを送ることはできません。

発信履歴から削除する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [履歴]（りれき）を選択

2 「かけたでんわ」を選択 ⇒ 相手を選択

3 [MENU] を押す ⇒ 「けす」を選択

4 確認画面で「はい」を選択

下記の操作でも操作４の確認画面が表示されます。

- 操作２の「かけたでんわ」画面で相手にカーソルを合わせる ⇒ [MENU] を押して、「けす」を選択

電話の受けかた

1 電話がかかってくる

着信音が鳴り、ランプが点滅します。

相手の電話番号を電話帳に登録している場合は、登録名が表示されます。

相手の電話番号が通知されなかったときは、発信者番号非通知理由が表示されます。

ひつうちせってい：発信者の意思により発信者番号を通知しないで発信した場合

こうしゅうでんわ：公衆電話などから発信した場合

つうちふかのう：海外や一般電話から各種転送サービスを経由した場合など、発信者番号を通知できない状態で発信した場合（経由する電話会社によっては通知される場合もあります）

- 電話帳に登録されていない相手に対して、着信拒否を設定できます。→ P62

2 着信中に [通話] または [■]

3 通話が終わったら [終話]

下記の操作でも電話を受けることができます。

- 着信中に [MENU] を押す ⇒ 「でんわにでる」を選択

着信中の電話を受けない

1 着信中に [終話] または [CLR]

下記の操作でも着信を拒否することができます。

- 着信中に [MENU] を押す ⇒ 「でんわをきる」を選択

着信音量を変更する

1 着信中に [1] または [3]

電話

受話音量調節

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「受話音量」を選択

5 [1] または [3] で音量を設定 ⇒ [■] で設定した内容を保存
設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

通話中に受話音量を変更する

1 通話中に [1] または [3]

スピーカーホンに切り替える

スピーカーホンを利用すると、通話中の相手の音声などをスピーカーから流して通話することができます。

1 通話中に [■]
スピーカーホン通話中に、[■] を押すとスピーカーホンが OFF になり、受話口の通話に戻ります。

下記の操作でもスピーカーホンに切り替えることができます。

- 通話中に [MENU] ⇒ 「スピーカーホン」を選択

お知らせ

- スピーカーホンに切り替えると音量が急に大きくなります。本 FOMA 端末を耳から離して使用してください。
  - 本 FOMA 端末に向かって約 50cm 以内の距離でお話しください。
  - 周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーホン機能を OFF にしてください。
  - マナーモード中でも本機能を利用できます。

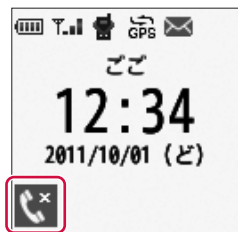
不在着信

不在着信があると、待受画面下部にアイコンが表示されます。

ごご
12:34
2011/10/01（ど）

着信あり

着信のあった電話をすぐに確認する

1 待受画面で［■］⇒ 待受画面下部に表示されている「不在着信」アイコンを選択

「うけたでんわ」画面が表示されます。
選択を解除する場合は、［CLR］または［終話］を押します。

ネットワークサービス

ドコモ総合案内・受付に問い合わせる

1 待受画面で［MENU］⇒［設定］（設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒［MENU］（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択
4 「ドコモへのお問い合わせ」を選択 ⇒「ドコモ総合案内・受付」を選択
5 注意画面で「発信」を選択

ドコモに故障取扱窓口に問い合わせる

1 待受画面で［MENU］⇒［設定］（設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒［MENU］（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択
4 「ドコモへのお問い合わせ」を選択 ⇒「ドコモ故障問合せ」を選択
5 注意画面で「発信」を選択

電源 OFF・圏外時着信お知らせサービス

電源が入っていないときや圏外にいたときの着信を、再び電源を入れたときや圏内になったときに SMS でお知らせします。

◆受信した着信通知を見る

1 待受画面で［MENU］⇒［メール］（メール）を選択
2 「もらったメール」を選択→メールを選択

発信者番号通知サービス

発信者番号通知サービスは、他の FOMA 端末にドコモ UIM カードを挿入して設定してください。

お知らせ

- 詳細は「ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）」をご覧ください。
- FOMA 新規契約時には「通知」に設定されています。

メール

メール

本FOMA端末では、小さいお子さまでも簡単な操作でメールを送信できるように、33種類の定形文が登録されています。

・ メール定形文一覧→P92

お知らせ

・FOMA端末の保存・登録件数→P102

本FOMA端末で利用可能なメールサービスについて

本FOMA端末で使用できるメールは、携帯電話番号を宛先にして文字メッセージを送信するSMSのみです。

お知らせ

・本FOMA端末では、iモードメールやEメールの送受信はできません。

メールの作成・送信

電話帳に登録されている相手に、メールを送信します。

電話帳からメールを送る

1 **待受画面で[MENU] ⇒ [メール](メール)を選択**

2 **「メールをかく」を選択 ⇒「でんわちょう」画面で送信先を選択**

3 **「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択**

作成したメールを送信しないで[終話]を押すと、メールが保存されます。
保存したメールは、後で送信したり削除することができます。

・「ほぞんメール」→P52

下記の操作でも操作3の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

・待受画面で[発信] ⇒ 相手を選択するか、相手にカーソルを合わせて[MENU] ⇒「メールをおくる」を選択

ワンタッチ発信キーからメールを送る

ワンタッチ発信キーに登録されている相手にメールを送信します。

・ ワンタッチ発信キーに登録する→P37

1 **[1][2][3][4] ⇒「メールをおくる」を選択**

2 **「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択**

お知らせ

・本FOMA端末では、メール作成・送信時に下記の操作はできません。
  ・定形文を複数組み合わせる
  ・定形文を編集する、定形文以外の文字を入力する
  ・絵文字を入力する
・送信が正常に終了すると、「おくったメール」のフォルダに保存されます。保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い送信メールから上書きされます。

- 電波状況により、相手に文字が正しく表示されない場合があります。
- 送信に失敗したときは「ほぞんメール」のフォルダに保存されます。
- ドコモ以外の電話番号にメール送信を行った場合、宛先不明などのエラーメッセージを受信できないことがあります。
- 未送信メールの保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、古い未送信メールから上書きされます。
- 送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。
- メール送信時は送信相手に発信者番号が通知されます。
- 「186/184+電話番号」で電話帳登録されている相手にはメールの送信ができません。

メールの定型文一覧を見る

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「メール」を選択

4 「定型文一覧」を選択

メールの受信

メールを受信したときは待受画面下部にアイコンが表示されます。
未読のメールがあるときは、画面上部にアイコンが表示されます。

未読メールあり

ごご
12:34
2011/10/01（ど）

新着メールあり

受信したメールを見る

1 待受画面で MENU ⇒ （メール）を選択

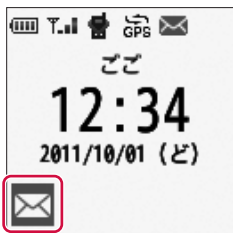
2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択

下記の操作でもメールを見ることができます。
- 操作2の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒ 「みる」を選択

受信したメールをすぐに見る

1 待受画面で ▬ ⇒ 待受画面下部に表示されている「新着メール」アイコンを選択

「もらったメール」画面が表示されます。

メール

選択を解除する場合は、CLR または 電源キー を押します。

お知らせ

- 保存領域の空きが足りないときや最大保存件数を超えるときは、未読・既読メールに関わらず、古いメールから上書きされます。

メール問い合わせ

圏外にいた間や電源を切っていた間などに、メールが届いていないかを問い合わせます。

メールを問い合わせる

1 待受画面で MENU ⇒ (メール) を選択

2 「といあわせる」を選択

お知らせ

- 電波状態によっては問い合わせができない場合があります。

メールの返信

受信したメールから返信する

1 待受画面で MENU ⇒ (メール) を選択

2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で MENU ⇒ 「へんしんする」を選択

4 「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作4の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

- 操作2の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒ 「へんしんする」を選択
- 操作3のメッセージが表示されている画面で ■ ⇒ 操作4の「ことばをえらぶ」画面が表示されます。

メールの保存

送信エラーがあったとき、または書いたメールを送信しないで 電源キー を押すと、メールが保存されます。
保存したメールは、後で送信したり削除することができます。

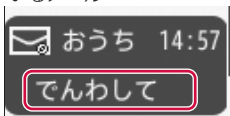
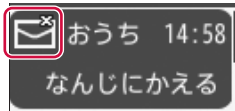
保存メールを見る

1　待受画面で MENU ⇒ ✉（メール）を選択

2　「ほぞんメール」を選択

メールの一覧が表示されます。

宛先だけ保存されているメール

宛先と本文が保存されているメール

送信エラーの保存メール

宛先だけ保存されているメールの場合

宛先の下に（なし）と表示されている未送信メールは、MENU で「なおす」「でんわをかける」「けす」のいずれかを選択できます。

宛先と本文が保存されているメールの場合

宛先の下に言葉が表示されている未送信メールは、MENU で「そうしんする」「でんわをかける」「けす」のいずれかを選択できます。

送信エラーの保存メールの場合

何らかの理由で送信できなかったメールも保存され、×印が付きます。

MENU で「そうしんする」「でんわをかける」「けす」のいずれかを選択できます。

宛先だけ保存されているメールを送る

1　待受画面で MENU ⇒ ✉（メール）を選択

2　「ほぞんメール」を選択 ⇒ メールを選択

3　「ことばをえらぶ」画面で言葉を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作３の「ことばをえらぶ」画面を表示することができます。

- 操作２の「ほぞんメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒ 「なおす」を選択

宛先と本文が保存されているメールを送る

1　待受画面で MENU ⇒ ✉（メール）を選択

2　「ほぞんメール」を選択 ⇒ メールを選択

3　確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でもメールを送信することができます。

・操作2の「ほぞんメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒「そうしんする」を選択 ⇒「おくる」を選択

保存メールを削除する

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択
2 「ほぞんメール」を選択 ⇒ メールにカーソルを合わせて MENU
3 「けす」を選択 ⇒ 確認画面で「はい」を選択

保存メールから電話をかける

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択
2 「ほぞんメール」を選択 ⇒ メールにカーソルをあわせて 📞

下記の操作でも電話をかけることができます。

・操作2の「ほぞんメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒「でんわをかける」を選択

受信／送信メールの一覧画面

受信メールの一覧をみる

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択
2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択

下記の操作でもメールを見ることができます。

・操作2の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒「みる」を選択

送信メールの一覧をみる

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択
2 「おくったメール」を選択 ⇒ メールを選択

下記の操作でもメールを見ることができます。

・操作2の「おくったメール」画面で相手にカーソルを合わせて MENU ⇒「みる」を選択

受信メールを転送する

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択
2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択
3 メッセージが表示されている画面で MENU ⇒「てんそうする」を選択
4 「でんわちょう」画面で転送先を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作４の「でんわちょう」画面を表示することができます。

- 操作２の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「てんそうする」を選択

送信メールを転送する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [メール]（メール）を選択

2 「おくったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で [MENU] ⇒「てんそうする」を選択

4 「でんわちょう」画面で転送先を選択 ⇒ 確認画面で「おくる」を選択

下記の操作でも操作４の「でんわちょう」画面を表示することができます。

- 操作２の「おくったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「てんそうする」を選択

受信メールから電話をかける

1 待受画面で [MENU] ⇒ [メール]（メール）を選択

2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作２の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択
- 操作２の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [発信]

送信メールから電話をかける

1 待受画面で [MENU] ⇒ [メール]（メール）を選択

2 「おくったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択

下記の操作でも電話をかけることができます。

- 操作２の「おくったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「でんわをかける」を選択
- 操作２の「おくったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [発信]

受信／送信メールの削除

受信メールを削除する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [メール]（メール）を選択

2 「もらったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で [MENU] ⇒「けす」を選択

4 確認画面で「はい」を選択

下記の操作でもメールを削除することができます。

- 操作2の「もらったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「けす」を選択 ⇒「はい」を選択

送信メールを削除する

1 待受画面で [MENU] ⇒ (メール)を選択

2 「おくったメール」を選択 ⇒ メールを選択

3 メッセージが表示されている画面で [MENU] ⇒「けす」を選択

4 確認画面で「はい」を選択

下記の操作でもメールを削除することができます。

- 操作2の「おくったメール」画面で相手にカーソルを合わせて [MENU] ⇒「けす」を選択 ⇒「はい」を選択

送達通知設定

メールを送信する際に、送達通知の配信を要求するかどうかを設定します。送達通知を「要求する」に設定して送信した場合は、メールが相手のFOMA端末に届いたことを知らせる送達通知が送られてきます。送達通知は受信メールのフォルダに保存されます。

1 待受画面で [MENU] ⇒ (設定／サービス)を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] (確定)を押す

3 「設定／サービス」画面で「メール」を選択

4 「メール設定」を選択 ⇒「送達通知」を選択

5 「要求する」または「要求しない」を選択

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

有効期間設定

送信したメールを相手が受け取れないときに、SMSセンターで保管する期間を選択します。

- 「0日」を設定すると一定時間再送が行われた後、SMSセンターから削除されます。

1 待受画面で [MENU] ⇒ (設定／サービス)を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] (確定)を押す

3 「設定／サービス」画面で「メール」を選択

4 「メール設定」を選択 ⇒「有効期間」を選択

5 有効期間を設定を選択

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

緊急速報「エリアメール」

気象庁から配信される緊急地震速報などを受信することができるサービスです。

お知らせ

- エリアメールはお申し込みが不要の無料サービスです。
- エリアメールとは、災害などの緊急時において、気象庁が提供する緊急地震速報や、国・地方公共団体が提供する災害・避難情報をドコモのネットワークを介して、一定のエリアに存在する携帯電話に一斉同報配信するサービスです。
- エリアメールを使った災害・避難情報の配信を開始した地方公共団体については、ドコモホームページ「災害・避難情報」のページをご覧ください。
- エリアメールの受信は通信料無料です。
- エリアメールは受信すると詳細画面が自動的に表示され、その後保存されます。
- 着信音および着信音量は変更できません。
- 電源が入っていない、電波状態が悪い場所、圏外、通話中、SMS送受信中、本FOMA端末のメモリ容量が少ないときなどはエリアメールを受信することができません。
- エリアメールを受信できなかった場合、再受信はできません。
- エリアメールによる緊急地震速報であっても、地震などの揺れを感じるよりも早く必ず受信できるとは限りません。

緊急速報「エリアメール」受信

エリアメールを受信すると、メッセージの内容がポップアップ表示され、専用の警告音の鳴動、バイブレーションと同時にランプが点滅します。

お知らせ

- マナーモード時設定で「各モードに従う」に設定している場合は、ポップアップ表示とバイブレーション、ランプの点滅のみ動作します。
  - 本FOMA端末で利用可能なメールサービスについて→P50

過去に受信したエリアメールを見る

1 待受画面で[MENU]⇒[✉](メール)を選択

2 「エリアメール」を選択

過去に受信したエリアメールの一覧が表示されます。

3 メールを選択

エリアメールのメッセージが表示されます。

下記の操作でもエリアメールを見ることができます。

- 操作3の「エリアメール」画面でメールにカーソルを合わせて[MENU]⇒「みる」を選択

過去に受信したエリアメールを消す

1 待受画面で MENU ⇒ ✉(メール)を選択

2 「エリアメール」を選択 ⇒ 2 または 4 でメールにカーソルを合わせて MENU

3 「けす」を選択

エリアメールの受信設定をする

エリアメールを受信するかどうかを設定します。

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス)を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU (確定)を押す

3 「設定／サービス」画面で「メール」を選択

4 「エリアメール設定」を選択 ⇒ 「受信設定」を選択

5 「利用する」または「利用しない」を選択

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

マナーモード中のエリアメールの受信設定をする

マナーモード中にエリアメールを受信したときの警告音の鳴動を設定します。設定を「各モードに従う」にすると、エリアメール受信時に警告音は鳴動しません。メッセージのポップアップ表示、バイブレーション、ランプの点滅のみ動作します。

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス)を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU (確定)を押す

3 「設定／サービス」画面で「メール」を選択

4 「エリアメール設定」を選択 ⇒ 「マナーモード時設定」を選択

5 「マナーモード時でも鳴動する」または「各モードに従う」を選択

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

あんしん設定

暗証番号

本 FOMA 端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号の入力が必要な場合があります。
本 FOMA 端末では、本体の設定やプライバシーに関わる設定を暗証番号で保護しているので、お子さまにも安心してご利用いただけます。
また、メニューの「設定／サービス」画面を表示するときは、暗証番号の入力が必要です。

お知らせ

■暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」「1111」「1234」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- 暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）や本 FOMA 端末、ドコモ UIM カードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。
- 詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。

「設定／サービス」画面の表示

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

設定/サービス

「設定／サービス」画面の表示には、暗証番号の入力が必要です。

暗証番号の入力

1 「暗証番号入力」画面で暗証番号を入力

初期設定「0000」

暗証番号表示欄

暗証番号入力

****

1 2 3 4 5
6 7 8 9 0

確定 戻る

入力した文字を削除

番号を選んで入力

- 暗証番号表示欄
  入力した暗証番号は、入力直後の 1 桁を除き「＊」で表示されます。
- 番号
  ワンタッチ発信キー（1 2 3 4）で番号を選択して、■ で入力します。
- ←
  文字を削除するときは「←」を選択します。

- 確定
  暗証番号を入力したら、MENU で確定します。
- 戻る
  前の画面に戻るときは、CLR で戻ります。

2 MENU（確定）を押す

暗証番号を変更する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「セキュリティ」を選択

4 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

5 「暗証番号変更」を選択 ⇒「新しい暗証番号」画面で新しい暗証番号を入力

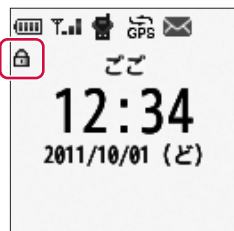
暗証番号は 4 ～ 8 桁の数字で設定します。
入力した暗証番号は、入力直後の 1 桁を除き「＊」で表示されます。

6 MENU（確定）を押す ⇒ 確認画面で「はい」を選択

お知らせ

- お買い上げ時の暗証番号は「0000」に設定されています。

キーロック

キーロックを設定すると、待受画面にアイコンが表示されキー操作ができなくなります。

キーロックを設定する

1 待受画面で ■（3 秒以上）

キーロックを解除する

1 キーロック状態で ■（3 秒以上）

お知らせ

キーロック中でも、下記の操作は可能です。

- 電話を受ける→ P45
- 位置提供要求を受ける／中断→ P67
- 防犯ブザーを鳴らす→ P64
- ブザー連動電話発信／中断→ P63
- 防犯ブザー連動現在地通知／中断→ P64
- ソフトウェア更新後の時間設定→ P100

電話帳登録外着信拒否

電話帳に登録されていない番号からの着信を拒否することができます。

電話帳登録外着信拒否を設定する

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**

2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**

3 **「設定／サービス」画面で「電話機能」を選択**

4 **「着信拒否設定」を選択 ⇒「電話帳登録外着信拒否」を選択**

5 **「ON」または「OFF」を選択**

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

- ON →着信拒否を設定する
- OFF →着信拒否を解除する

お知らせ

- 電話帳に登録していない相手から電話がかかってきたとき、着信音は鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。
- 着信を拒否すると、うけたでんわに記録されません。
- 電話帳に登録している相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたときは、相手からの着信を拒否します。
- 公衆電話、通知不可能や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合は、相手からの着信を拒否します。

防犯ブザー

防犯ブザーについて

緊急時に簡単な操作で大音量のブザーを鳴らすことができます。また、防犯ブザーを鳴らしたとき、自動的に電話を発信したり、GPS 機能を利用して居場所を知らせたりできます。

防犯ブザーを使用する前に

- 電池が切れているときは防犯ブザーは動作しません。
- 防犯ブザースイッチが引き出されているときは、電源を OFF にすることができません。
- ブザー音を「OFF」に設定しているときは、防犯ブザーは鳴りませんが、ブザー連動電話発信など防犯ブザーの動作に関連して設定されている機能は動作します。
- 電源を切っているときに防犯ブザーのスイッチを入れると、電源が入り防犯ブザーが動作します。
- 防犯ブザーの音量は変更できません。大音量で音が鳴りますので、ご使用の際はご注意ください。
- 取り付けたブザー用ストラップ（試供品）をかばんやポケットに引っかけてしまうなど、誤ってブザーが鳴ってしまう場合があります。ご注意ください。
- ブザー連動電話発信する場合は、あらかじめ防犯ブザー設定で発信する相手の電話番号を登録する必要があります。
  - 電話を発信するように設定する→P63

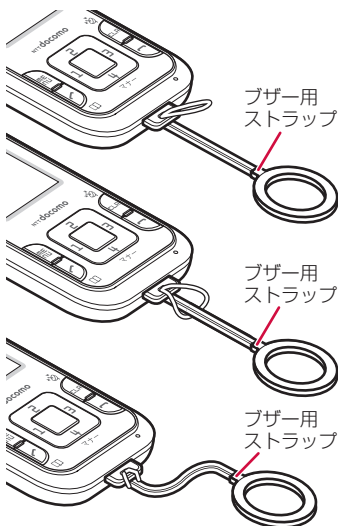
- GPS機能を利用して居場所を通知する場合は、あらかじめ位置提供設定（P67）を「ON」にする必要があります。
- 現在地通知先（P73）をイマドコサーチに設定する場合は、イマドコサーチの検索対象として設定されている必要があります。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチ以外の通知先は、最大5件登録できます。登録されている通知先の中から、1件を通知先として設定することができます。

ブザー用ストラップの取り付けかた

（ストラップは試供品です。）
ブザー用ストラップ取付口にストラップのひもを通し、ひもの輪にリングをくぐらせます。

ブザー用ストラップ

ブザー用ストラップ

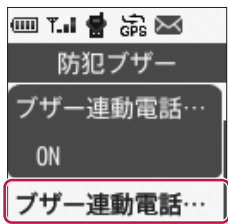
ブザー用ストラップ

防犯ブザー音を設定する

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**
2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**
3 **「設定／サービス」画面で「防犯ブザー」を選択**
4 **「ブザー音」を選択**
5 **「ON」または「OFF」を選択**
設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

電話を発信するように設定する

防犯ブザーが鳴ったときに、あらかじめ登録した通知先へ電話発信することができます。

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**
2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**
3 **「設定／サービス」画面で「防犯ブザー」を選択**
4 **「ブザー連動電話発信」を選択**
5 **「ON」または「OFF」を選択**
「防犯ブザー」画面に戻ります。
設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。
「ON」に設定した場合は、引き続き次の手順に進みます。
6 **「ブザー連動電話発信先設定」を選択**
手順5で「ON」に設定すると、防犯ブザー画面に「ブザー連動電話発信先設定」が表示されます。

防犯ブザー
ブザー連動電話…
ON
ブザー連動電話…

7 「でんわちょう」画面から登録する相手を選択

選択された相手を、通知先として登録します。

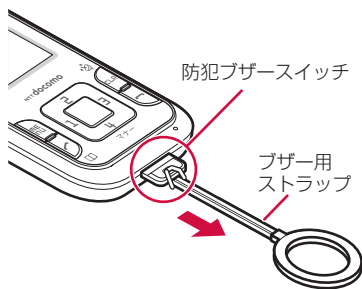
お知らせ

- 電話帳で通知先に設定した電話番号を修正すると、ブザー連動電話発信先も変更されます。
- 電話帳で通知先に設定した電話番号を削除すると、ブザー連動電話発信先も削除されます。

防犯ブザーを鳴らす

1 防犯ブザースイッチを引き出す（ブザー用ストラップ（試供品）を引っ張る）

防犯ブザーが鳴り、現在地情報を送信します。
ブザー連動電話発信が ON の場合は、あらかじめ設定した通知先に電話を発信します。

防犯ブザースイッチ
ブザー用ストラップ

防犯ブザーを止める

1 防犯ブザースイッチを戻す

このとき、ブザー音は停止しますが、電話発信や現在地通知の動作は継続します。

画面は、電話発信画面→現在地通知画面の順番で表示されます。

お知らせ

- ブザー音を OFF にしている場合は、ブザー音は鳴りません。→ P63
- マナーモード中でも、ブザー音は鳴ります。
- 現在地通知を中止する場合は、暗証番号の入力が必要です。→ P60
- 暗証番号入力画面が表示中でも、位置通知は実行され暗証番号を入力中に位置通知が完了する場合があります。
- 電話の発信を中止する場合は、先に位置提供を中止または完了してください。
- ブザーを鳴らした後、ブザー音が不要になったら、必ず防犯ブザースイッチを元に戻してください。
- 防犯ブザースイッチが引き出されているときは、電源を OFF にすることができません。

◆ 防犯ブザーが起動すると

防犯ブザーが動作すると、現在地通知が作動します。GPSによる測位を行い､あらかじめ指定された連絡先(P73)に位置情報を送信します。

- GPSの圏外で防犯ブザーを鳴らした場合は、現在地通知は行われません。
- マナーモード中、キーロック中でも防犯ブザーが鳴り、現在地通知が行われます。
- 電話の発着信（呼出）中、通話中に防犯ブザーを鳴らすと、次のようになります。
  - 「ブザー連動電話発信」を設定していて、電話の相手が通知先の場合は、発着信や通話は継続したまま､ブザー音が鳴ります。
  - 「ブザー連動電話発信」を設定していて、電話の相手が通知先以外の場合は、ブザー音が鳴っている状態で、発着信や通話を切断し、通知先へ電話を発信します。
  - 「ブザー連動電話発信」を未設定の場合は、発着信や通話を継続したままブザー音が鳴ります。
  - 電話の相手が緊急通報（110番、119番､118番）の場合（P43）は、ブザー音は鳴らず発信や通話を継続し、自動的に緊急通報受理機関へ現在地通知が行われます。緊急通報受理機関への現在地通知終了後に、防犯ブザーに設定されている現在地通知を行います。緊急通報の発信や通話を終了するとブザー音が鳴ります。「ブザー連動電話発信」を設定している場合は通知先へ電話を発信します。
- 他の機能を実行中に防犯ブザーを鳴らすと、実行中の機能は終了します（編集、操作中のデータを保存せずに終了する場合があります）。
- 「ブザー連動電話発信」を未設定の場合、防犯ブザー動作中でも着信できます。
  - 通話が開始されると、相手には「緊急通話です」とガイダンスが流れます。
- 防犯ブザー動作中に通話できる状態になっても、ブザー音は鳴り続けます。そのままでも通話できますが、必要に応じてブザーのスイッチを元に戻してください。
- 電池が切れそうになると、ブザー音は鳴り続けますが電話発信や位置提供は終了します。
- 長期間にわたって使用しない場合、定期的に操作して正常に動作することを確認してください。
- 防犯ブザーは、周囲の注意をこちらに向けるためのもので、犯罪防止や安全を保障するものではありません。本機能を使用した際に、万が一損害が発生したとしても、当社は一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

◆「ブザー連動電話発信」を設定している場合

防犯ブザーが動作すると、設定されている連絡先に自動的に電話を発信します。

- マナーモード中、キーロック中でも防犯ブザーが鳴り、電話を発信します。
- 相手が電話を受けると、自動的にスピーカーホンで通話を開始します。
- 電話を受けた相手には「緊急通話です」とガイダンスが流れます。

GPS機能

GPS機能のご利用について

- 航空機、車両、人などの航法装置や、高精度の測量用GPSとしての使用はできません。これらの目的で使用したり、これらの目的以外でも、FOMA端末の故障や誤動作、不具合、停電などの外部要因（電池切れを含む）によって測位結果の確認や通信などの機会を逸したりしたために生じた損害などの純粋経済損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- GPSは米国国防総省により運営されているため、米国の国防上の都合によりGPSの電波の状態がコントロール（精度の劣化や電波の停止など）される場合があります。また、同じ場所・環境で測位した場合でも、人工衛星の位置によって電波の状況が異なるため、同じ結果が得られないことがあります。
- GPSは人工衛星からの電波を利用しているため、次の環境下では電波を受信できない、または受信しにくいため位置情報の誤差が300m以上になる場合がありますのでご注意ください。
  - 密集した樹木の中や下、ビル街、住宅密集地
  - 建物の中や直下
  - 地下やトンネル、地中、水中
  - 高圧線の近く
  - 自動車や電車などの室内
  - 大雨や雪などの悪天候
  - かばんや箱の中
  - FOMA端末の周囲に障害物（人や物）がある
  - FOMA端末の画面、ボタン、マイクやスピーカー周辺を手で覆い隠すように持っている場合
- 位置提供のご利用にあたっては、GPSサービス提供者やドコモのホームページなどでのお知らせをご確認ください。また、これらの機能の利用は有料となる場合があります。
- 圏外では、GPS機能をご利用いただけません。

イマドコサーチのご利用について

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。

位置提供

要求に応えて現在の位置情報を提供する

位置提供に対応したサービスで、設定した相手などから要求があったときに、位置情報を提供するように設定します。

- 位置提供に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。
- 位置提供要求を受ける場合は、位置提供設定を「ON」に設定する必要があります。

位置提供設定のON／OFFを設定する

1 **待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス)を選択**

2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU (確定)を押す**

3 **「設定／サービス」画面で「GPS設定」を選択**

4 **「位置提供設定」を選択**

5 **「ON」または「OFF」を選択**

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

- ON →位置提供を設定する
- OFF →位置提供を解除する

「ON」に設定すると、画面にアイコンが表示されます。

位置提供設定中

12:34
2011/10/01 (ど)

お知らせ

- 位置情報の送信には利用料がかかりません。
- 位置提供での測位中や圏外にいるとき、衛星信号を受信できないときは位置提供できません。また、測位中に電池が切れたときは、測位は中断されます。
- 位置提供を行っても、電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。

位置情報の提供要求があると

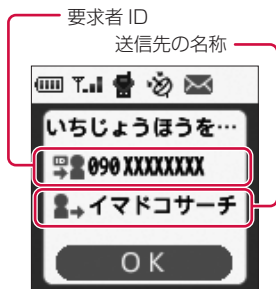
◆イマドコサーチの探される側の設定を「許可」に設定しているとき

位置情報の提供要求があると、ランプが点滅し、GPS測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動すると共に、確認画面が表示されます。

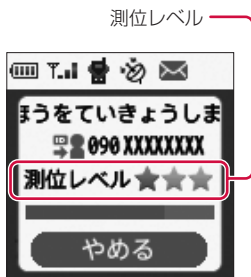
1 確認画面が表示されます

「OK」を選択するか、そのままの状態で３秒経過すると、自動的に位置提供を開始します。

要求者 ID
送信先の名称

いちじょうほうを…
090 XXXXXXXX
イマドコサーチ
OK

位置情報の送信を開始すると、測位レベルと共に、送信状況が表示されます。
測位を中断する場合は、CLR または [終話] を押すか「やめる」を選択します。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

測位レベル

ほうをていきょうしま
090 XXXXXXXX
測位レベル★★★
やめる

測位レベルのマークの意味は次のとおりです。

★★★　ほぼ正確な位置情報（誤差がおおむね 50m 未満）

★★☆　比較的正確な位置情報（誤差がおおむね 300m 未満）

★☆☆　おおよその位置情報（誤差がおおむね 300m 以上）

※測位レベルはあくまで目安です。周囲の電波状況などにより実際とは異なる場合があります。

送信が完了すると確認画面が表示されます。

2 確認画面で「OK」を選択

送信が完了します。
「ＯＫ」を選択せずに、そのままの状態で一定時間経過すると、待受画面下部に「位置提供成功」アイコンが表示されます。
位置提供の送信に失敗した場合、待受画面下部に「位置提供エラー」アイコンが表示されます。

ごご
12:34
2011/10/01（ど）

位置提供成功
位置提供エラー

お知らせ

イマドコサーチを利用した相手から位置情報の提供を要求されたときは、次のように動作します。

イマドコサーチの探される側の設定を「許可」に設定している場合

- 位置提供要求があると、確認画面が表示され自動的に位置提供が開始されます。測位終了後には、測位結果が相手に通知されます。

イマドコサーチの探される側の設定を「毎回確認」に設定している場合

- 位置提供要求があるたびに位置提供の確認画面が表示されます。「はい」を選択すると、測位終了後には測位結果が相手に通知されます。確認画面で「いいえ」を選択すると、位置提供はされません。
- 確認画面が表示されてから一定時間経過しても操作がなかったときは、待受画面が表示され待受画面下部に「位置情報送信に失敗」アイコンが表示され、位置提供はされません。

位置提供を中断した場合

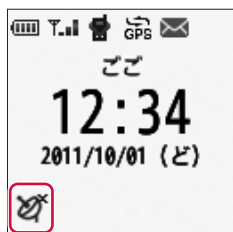
- 位置情報は表示されません。ただし、タイミングによっては位置情報が送信される場合があります。

送信結果について

- 送信結果は、「ばしょのりれき」画面(P74)で確認することができます。

位置情報の提供要求を受けられなかったとき

受けられなかった位置情報の提供要求があると、待受画面下部にアイコンが表示されます。

ごご
12:34
2011/10/01 (ど)

位置情報送信に失敗

受けられなかった位置情報の提供要求をすぐに確認する

1 待受画面で [■] ⇒ 待受画面下部に表示されている「位置情報送信に失敗」アイコンを選択

ごご
12:34
2011/10/01 (ど)

「ばしょのりれき」(P74)画面が表示されます。
選択を解除する場合は、[CLR] または [⌒] を押します。

現在地通知

現在地をイマドコサーチの契約者またはあらかじめ設定した通知先に通知します。

- 現在地通知に対応したサービスを利用するには、サービス提供者へのお申し込みが必要となる場合があります。また、サービスの利用は有料となる場合があります。

現在地をワンタッチで知らせる（ちょこっと通知）

1　待受画面で [CLR]（3 秒以上）⇒ 確認画面で「OK」を選択

[CLR] を 3 秒以上押すと、現在地をイマドコサーチの契約者またはあらかじめ設定した通知先に通知します。

確認画面で「OK」を選択するか、この画面が表示された状態で 3 秒以上経過すると、送信を開始します。送信が完了すると、GPS 測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動します。
ちょこっと通知を中断するときは、測位中画面で「やめる」を選択します。

お知らせ

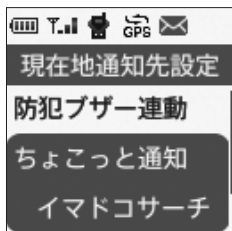
- 現在地通知には利用料がかかります。ただし、通知先がイマドコサーチの場合は利用料はかかりません。
- 現在地通知での測位中や圏外にいるとき、衛星信号を受信できないときは現在地通知できません。また、測位中に電池が切れたときは、測位は中断されます。
- 現在地通知を行っても、電波の状況により相手に情報が届いていない場合があります。
- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- 緊急電話(P43)をかけると、電話発信および通話しながら、あらかじめ登録されている緊急通報受理機関へ現在地通知を行います。
- 電源を入れてすぐに [CLR] を 3 秒以上押したときなどはバイブレータが振動しても、測位できない場合があります。
- 次の場合はちょこっと通知は起動できません。
  - ・防犯ブザー動作中
  - ・ドコモ UIM カードを取り付けていないとき
  - ・キーロック中
- 送信結果は、「ばしょのりれき」画面(P74)で確認することができます。

ちょこっと通知の通知先をイマドコサーチに設定する

1　待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2　暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3　「設定／サービス」画面で「GPS 設定」を選択

4　「現在地通知先設定」を選択 ⇒ 「ちょこっと通知」を選択

現在地通知先設定
防犯ブザー連動
ちょこっと通知
イマドコサーチ

5 「イマドコサーチ」を選択

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

お知らせ

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。

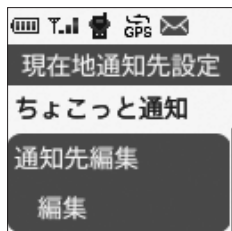
ちょこっと通知の通知先を任意の連絡先に設定する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU （確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「GPS設定」を選択

4 「現在地通知先設定」を選択 ⇒ 「通知先編集」を選択

現在地通知先設定
ちょこっと通知
通知先編集
編集

5 「通知先 1」～「通知先 5」のいずれかを選択 ⇒ 通知先 ID を入力

通知先 ID をワンタッチ発信キー（1 2 3 4）で番号を選択して、■ で入力します。数字の他「+」「#」「*」を入力できます。文字を削除するときは「⬅」を選択します。

- 通知先 ID

  契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。

6 MENU （保存）を押す ⇒ CLR を押して「現在地通知先設定」画面に戻る

7 「ちょこっと通知」を選択 ⇒ 操作 5 で選択した通知先を選択

あんしん設定

電源を切ったときの位置情報送信

電源が切れる直前に、現在地通知を行うよう設定します。電源OFF検索では、通知先が「イマドコサーチ」のみとなり、通知先は変更できません。

電源 OFF 検索の ON ／ OFF を設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定アイコン]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「GPS設定」を選択

4 「電源 OFF 検索」を選択

GPS設定
現在地通知先設定
電源OFF検索
ON

5 「ON」または「OFF」を選択
設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

- ON →電源 OFF 検索を設定する
- OFF →電源 OFF 検索を解除する

お知らせ

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- 完全電源 OFF 時は、位置情報を送信できません。

電源 OFF 検索を ON にすると

電源が切れる直前に現在地通知を行います。現在地通知が完了すると、GPS測位鳴動音が鳴り、バイブレータが振動して、電源が切れます。
現在地通知を中断するときは、測位中画面で「やめる」を選択します。

お知らせ

- 中断した場合は、電源を OFF できません。
- 次の場合、電源を切ったときの現在地通知は行われません。
  - ・ドコモ UIM カードを挿入していない
  - ・電池残量がない、または少ない状態
- 次の場合、電源 OFF 検索は中断されます。
  - ・防犯ブザー動作時の現在地通知が行われた場合

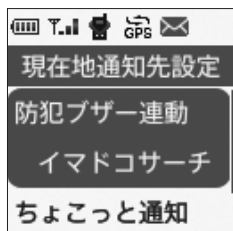
防犯ブザーが鳴ったときの位置情報送信先設定

防犯ブザー連動の通知先をイマドコサーチに設定する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「GPS設定」を選択

4 「現在地通知先設定」を選択 ⇒ 「防犯ブザー連動」を選択

現在地通知先設定
防犯ブザー連動
イマドコサーチ
ちょこっと通知

5 「イマドコサーチ」を選択

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

お知らせ

- イマドコサーチはお申し込みが必要な有料サービスです。イマドコサーチについては、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。

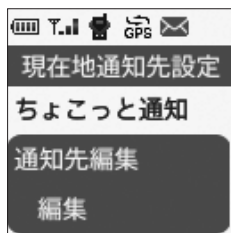
防犯ブザー連動の通知先を任意の連絡先に設定する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「GPS設定」を選択

4 「現在地通知先設定」を選択 ⇒ 「通知先編集」を選択

現在地通知先設定
ちょこっと通知
通知先編集
編集

5 「通知先 1」～「通知先 5」のいずれかを選択 ⇒ 通知先 ID を入力

通知先 ID をワンタッチ発信キー（1 2 3 4）で番号を選択して、■ で入力します。数字の他「+」「#」「＊」を入力できます。文字を削除するときは「←」を選択します。

- 通知先 ID
  契約したサービス提供者から付与される番号を入力します。

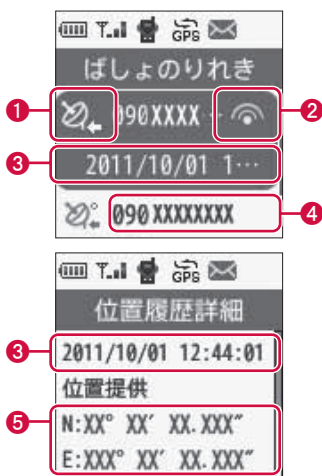
6 [MENU]（保存）を押す ⇒ [CLR] を押して「現在地通知先設定」画面に戻る

7 「防犯ブザー連動」を選択 ⇒ 操作 5 で選択した通知先を選択

場所の履歴

1 待受画面で [MENU] ⇒ [i]（りれき）を選択

2 「ばしょのりれき」を選択 ⇒ 表示する履歴を選択

履歴の詳細が表示されます。
詳細画面は、[2] または [4] でスクロールします。

① 位置提供
現在地通知
未読の履歴
- 未読の履歴は水色のアイコンで表示され、右上に○が付きます。
- 確認後は各種アイコンに変わります

② 位置提供 / 現在地通知の成功
③ 測位した日時
④ 位置提供 / 現在地通知の要求者／送信先
⑤ 現在地
N ＝北緯、E ＝東経
「°」＝度、「 ’ 」＝分、「 ”」＝秒
⑥ 測地系
⑦ 測位レベル
⑧ 要求者名称
⑨ 要求者 ID
⑩ 通知先名称
⑪ 通知先 ID

お知らせ

- 場所の履歴は 20 件まで記録され、件数を超えると古い履歴から順に上書きされます。

設定リセット

各種機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

設定をリセットする

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定アイコン]（設定／サービス）を選択

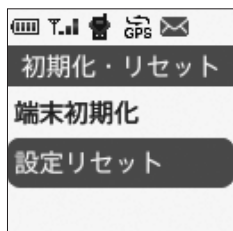
2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択

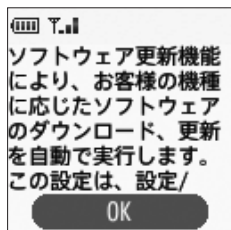
4 「初期化・リセット」を選択 ⇒ 「設定リセット」を選択

初期化・リセット
端末初期化
設定リセット

5 確認画面で「はい」を選択

リセットしますか？
はい いいえ

6 「暗証番号入力」画面で暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

7 ソフトウェアの自動更新確認画面で「OK」を選択

ソフトウェア更新機能により、お客様の機種に応じたソフトウェアのダウンロード、更新を自動で実行します。この設定は、設定/
OK

・「ソフトウェアの自動更新」→ P100

お知らせ

設定リセットでは、下記の設定がリセットされます。

・電話着信音
・メール着信音
・GPS 測位鳴動音
・受話音量
・マナーモード
・照明時間設定
・時計設定
・防犯ブザー
・メール設定
・着信拒否設定
・GPS 設定
・暗証番号
・ソフトウェア更新

端末初期化

FOMA 端末を初期化する

1 待受画面で [MENU] ⇒ (設定／サービス)を選択

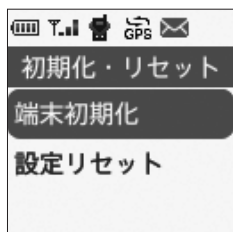
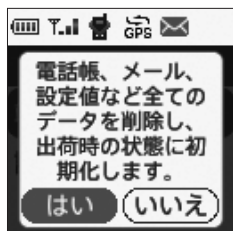
2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU](確定)を押す

3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択

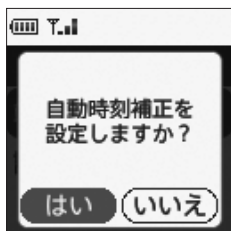
4 「初期化・リセット」を選択 ⇒ 「端末初期化」を選択

初期化・リセット
端末初期化
設定リセット

5 確認画面で「はい」を選択

電話帳、メール、設定値など全てのデータを削除し、出荷時の状態に初期化します。
はい　いいえ

6 「暗証番号入力」画面で暗証番号を入力 ⇒ [MENU](確定)を押す

7 「自動時刻補正」画面で「はい」または「いいえ」を選択

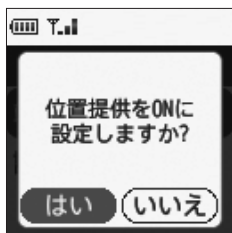
自動時刻補正を設定しますか？
はい　いいえ

• 「自動時刻補正」→ P30

8 「暗証番号設定」画面で「はい」または「いいえ」を選択

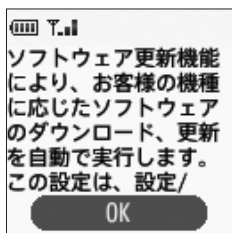
暗証番号を変更しますか？
はい　いいえ

• 「はい」を選択した場合、出荷時の暗証番号から、任意の暗証番号に変更することができます。「新しい暗証番号」画面に新しい暗証番号を入力します。
• 「いいえ」を選択した場合は、出荷時の暗証番号から変更されません。
• 「暗証番号」→ P60

9 「位置提供設定」画面で「はい」または「いいえ」を選択

位置提供をONに
設定しますか?
はい いいえ

・「位置提供」→P67

10 ソフトウェアの自動更新確認画面で「OK」を選択

ソフトウェア更新機能により、お客様の機種に応じたソフトウェアのダウンロード、更新を自動で実行します。
この設定は、設定/
OK

・「ソフトウェアの自動更新」→P100

お知らせ

- 端末初期化では、登録されている電話帳や過去に受信したメールなどのユーザデータを含むすべてのデータや設定が消去され、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 電話帳の内容は、必要に応じてあらかじめ保存してください。
  - ・ドコモUIMカードに電話帳を保存→P38

音／画面／照明設定

着信音設定

電話の着信音を変える

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「電話着信音」を選択 ⇒ 「着信音選択」を選択

5 着信音を選択

着信音選択
着信音1
着信音2
着信音3

着信音 1 ～ 10 のいずれかを選択します。
選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

- マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

6 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

メールの着信音を変える

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「メール着信音」を選択 ⇒ 「着信音選択」を選択

5 着信音を選択

着信音 1 ～ 10 のいずれかを選択します。
選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

- マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

6 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

着信音量設定

電話着信音の音量を設定する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「電話着信音」を選択 ⇒ 「音量設定」を選択

5 [1] または [3] で音量を設定

6 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

メール着信音の音量を設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定] （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「メール着信音」を選択 ⇒ 「音量設定」を選択

5 [1] または [3] で音量を設定 ⇒ [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

お知らせ

- 音量を 0 に設定すると、着信しても着信音は鳴りません。

バイブレータ設定

電話着信音のバイブレータを設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定] （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「電話着信音」を選択 ⇒ 「バイブレータ設定」を選択

5 「ON」または「OFF」を選択

- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

6 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

メール着信音のバイブレータを設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定] （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU] （確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「メール着信音」を選択 ⇒ 「バイブレータ設定」を選択

5 「ON」または「OFF」を選択

- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

6 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

お知らせ

- マナーモード中は、バイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。

GPS 測位鳴動音設定

防犯ブザー連動の音量を設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定アイコン]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「防犯ブザー連動」を選択 ⇒「音量設定」を選択

6 [1] または [3] で音量を設定 ⇒ [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

防犯ブザー連動の鳴動音を選択する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定アイコン]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「防犯ブザー連動」を選択 ⇒「鳴動音選択」を選択

6 鳴動音を選択

鳴動音 1 ～ 5 のいずれかを選択します。

選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

- マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

防犯ブザー連動のバイブレータを設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定アイコン]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「防犯ブザー連動」を選択 ⇒「バイブレータ設定」を選択

6 「ON」または「OFF」を選択

- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

ちょこっと通知の音量を設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「ちょこっと通知」を選択 ⇒「音量設定」を選択

6 [1] または [3] で音量を設定 ⇒ [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

ちょこっと通知の鳴動音を選択する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「ちょこっと通知」を選択 ⇒「鳴動音選択」を選択

6 鳴動音を設定

鳴動音 1 ～ 5 のいずれかを選択します。

選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

- マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

ちょこっと通知のバイブレータを設定する

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択

5 「ちょこっと通知」を選択 ⇒「バイブレータ設定」を選択

6 「ON」または「OFF」を選択

- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

お知らせ

・マナーモード中は、バイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。

電源 OFF 検索の音量を設定する

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択
4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択
5 「電源 OFF 検索」を選択 ⇒「音量設定」を選択
6 1 または 3 で音量を設定 ⇒ ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

電源 OFF 検索の鳴動音を選択する

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択
4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択
5 「電源 OFF 検索」を選択 ⇒「鳴動音選択」を選択
6 鳴動音を選択

鳴動音 1 ～ 5 のいずれかを選択します。

選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

・マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

7 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

電源 OFF 検索のバイブレータを設定する

1 待受画面で MENU ⇒ (設定／サービス）を選択
2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す
3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択
4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「現在地通知」を選択
5 「電源 OFF 検索」を選択 ⇒「バイブレータ設定」を選択
6 「ON」または「OFF」を選択

・ON →バイブレータを設定する
・OFF →バイブレータを解除する

7 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

お知らせ

- マナーモード中は、バイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。

位置提供「許可」の音量を設定する

- イマドコサーチのご利用について→P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**
2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**
3 **「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択**
4 **「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「位置提供「許可」」を選択**
5 **「音量設定」を選択**
6 **1 または 3 で音量を設定 ⇒ ■ で設定した内容を保存**
設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

位置提供「許可」の鳴動音を選択する

- イマドコサーチのご利用について→P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**
2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**
3 **「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択**
4 **「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「位置提供「許可」」を選択**
5 **「鳴動音選択」を選択**
6 **鳴動音を選択**
鳴動音 1 ～ 5 のいずれかを選択します。
選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。
    - マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。
7 **■ で設定した内容を保存**
設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

位置提供「許可」のバイブレータを設定する

- イマドコサーチのご利用について→P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 **待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択**
2 **暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す**
3 **「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択**
4 **「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「位置提供「許可」」を選択**
5 **「バイブレータ設定」を選択**

6 「ON」または「OFF」を選択

- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

お知らせ

- マナーモード中は、バイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。

位置提供「毎回確認」の音量を設定する

- イマドコサーチのご利用について → P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒ 「位置提供「毎回確認」」を選択

5 「音量設定」を選択

6 [1] または [3] で音量を設定 ⇒ [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

位置提供「毎回確認」の鳴動音を選択する

- イマドコサーチのご利用について → P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 待受画面で [MENU] ⇒ [設定]（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ [MENU]（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒ 「位置提供「毎回確認」」を選択

5 「鳴動音選択」を選択

6 鳴動音を選択

鳴動音 1 ～ 5 のいずれかを選択します。

選択した状態のまましばらくすると、選択されている音が鳴ります。

- マナーモード中または音量が「0」に設定されている場合は音が鳴りません。

7 [■] で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、[CLR] を押します。

位置提供「毎回確認」のバイブレータを設定する

- イマドコサーチのご利用について → P66
- 位置情報の提供要求があると→P67

1 待受画面で［MENU］⇒［設定］（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒［MENU］（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「GPS 測位鳴動音」を選択 ⇒「位置提供「毎回確認」」を選択

5 「バイブレータ設定」を選択

6 「ON」または「OFF」を選択
- ON →バイブレータを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

7 ［■］で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、［CLR］を押します。

お知らせ

- マナーモード中は、バイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。

マナーモード設定

周囲の迷惑にならないように、着信を振動で知らせたり、キーを押したときの確認音を消したりして、FOMA 端末からの音を鳴らさないように設定します。

マナーモードを設定すると、待受画面にアイコンが表示されます。

ごご
12:34
2011/10/01（ど）

お知らせ

- マナーモード中でも、防犯ブザー音は鳴ります。
- マナーモード中は、下記のバイブレータ設定に関わらずバイブレータが鳴動します。
  - ・電話着信
  - ・メール着信
  - ・現在地通知
  - ・電源 OFF 検索
  - ・位置提供「許可」
  - ・位置提供「毎回確認」

ワンタッチ発信キーを使用してマナーモードを設定する

1 待受画面で［4］（3 秒以上）

マナーモードが起動し、待受画面にアイコンが表示されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード状態で［4］（3 秒以上）

マナーモードを設定する

1 待受画面で［MENU］⇒［設定］（設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「マナーモード」を選択

5 「ON」または「OFF」を選択

- ON →マナーモードを設定する
- OFF →バイブレータを解除する

6 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

照明時間設定

ディスプレイの照明の点灯時間を設定します。照明を点灯すると、ディスプレイがより明るくなり、キー部分が点灯します。

照明時間を設定する

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「本体設定」を選択

4 「照明時間設定」を選択

5 照明時間を選択

照明時間は、5 秒、10 秒、15 秒、20 秒、30 秒のいずれかを選択します。

6 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

付録／困ったときには

メニュー一覧

赤文字：設定リセットを行うとお買い上げ時の状態に戻るメニュー

メニュー					お買い上げ時	参照先
メール						P50
	もらったメール					P54
	おくったメール					P54
	ほぞんメール					P52
	メールをかく					P50
	エリアメール					P57
	といあわせる					P52
でんわちょう						P36
りれき						P43
	うけたでんわ					P43
	かけたでんわ					P44
	ばしょのりれき					P74
きんきゅうでんわ						P42
	けいさつ 110					P43
	けが・かじ 119					P43
	うみのじこ 118					P43
じぶんのばんごう						P33
設定 / サービス						P60
	本体設定					
		電話着信音			音量設定：4 着信音選択：着信音 2 バイブレータ設定：OFF	P80
		メール着信音			音量設定：4 着信音選択：着信音 2 バイブレータ設定：OFF	P80
		GPS 測位鳴動音				
			現在地通知			
				防犯ブザー連動	音量設定：4 鳴動音選択：鳴動音 5 バイブレータ設定：OFF	P82
				ちょこっと通知	音量設定：0 鳴動音選択：鳴動音 5 バイブレータ設定：ON	P83
				電源 OFF 検索	音量設定：4 鳴動音選択：鳴動音 5 バイブレータ設定：OFF	P84
			位置提供「許可」		音量設定：4 鳴動音選択：鳴動音 5 バイブレータ設定：ON	P85
			位置提供「毎回確認」		音量設定：4 鳴動音選択：鳴動音 5 バイブレータ設定：ON	P86

メニュー				お買い上げ時	参照先
		受話音量		4	P46
		マナーモード		OFF	P87
		照明時間設定		15 秒	P88
		時計設定			P30
			自動時刻補正	自動補正	P30
			日付（手動補正時に表示）		P31
			時刻（手動補正時に表示）		P31
	防犯ブザー				P62
		ブザー音		ON	P63
		ブザー連動電話発信		OFF	P63
		ブザー連動電話発信先設定		非表示	P63
	メール				P50
		定形文一覧		別表参照	P92
		メール設定			
			送達通知	要求しない	P56
			有効期間	3 日	P56
		エリアメール設定			
			受信設定	利用する	P58
			マナーモード時設定	マナーモード時でも鳴動する	P58
	電話機能				
		電話帳			P36
			電話帳編集		P39
			ワンタッチ発信キー		P37
			保存（ドコモ UIM カードに）		P38
			復元（ドコモ UIM カードから）		P38
		着信拒否設定			
			電話帳登録外着信拒否	ON	P62
	GPS 設定				
		現在地通知先設定			
			防犯ブザー連動	イマドコサーチ	P73
			ちょこっと通知	イマドコサーチ	P70
			通知先編集		P71
		電源 OFF 検索		ON	P72
		位置提供設定		ON	P67
	セキュリティ				
		暗証番号変更		0000	P61
	電源 OFF				P29
	その他				
		初期化・リセット			
			端末初期化		P76
			設定リセット		P75
		ソフトウェア更新			
			自動更新設定	ON	P100
			更新実行		P101
		ドコモへのお問い合わせ			
			ドコモ総合案内・受付	151	P47
			ドコモ故障問合せ	113	P47

お買い上げ時に登録されているデータ

◆**着信音用メロディ**

電話着信音	1～10
メール着信音	1～10

◆**鳴動音用メロディ**

GPS 測位鳴動音	1～5

◆**電話帳名**

おうち
おとうさん
おかあさん
がっこう
おじいさん
（おとうさん）
おじいさん
（おかあさん）
おばあさん
（おとうさん）
おばあさん
（おかあさん）
かいしゃ
（おとうさん）
かいしゃ
（おかあさん）
おじさん
おばさん
おにいさん（うえ）
おにいさん（した）
おねえさん（うえ）
おねえさん（した）
おとうと
いもうと
おともだち
じゅく
ならいごと
いとこ
でんわちょう 1
でんわちょう 2
でんわちょう 3
でんわちょう 4

メール定形文一覧

◆**メール定形文一覧**

はい
いいえ
でんわして
なんじにかえる？
いまどこ？
まってる
あそびにいく
おうちについた
おうちでまってる
おうちからでた
がっこうについた
がっこうでまってる
がっこうからかえる
がくどうほいくについた
がくどうほいくでまってる
がくどうほいくからかえる
じゅくについた
じゅくでまってる
じゅくからかえる
こうえんにいる
えきについた
えき2についた
えきでまってる
でんしゃにのった
いまからかえる
ついた
ありがとう
ごめんなさい
むかえにきて
おなかすいた
ぐあいがわるい
かぎがない
ともだちのいえ

オプション・関連機器

FOMA 端末に別売りのオプション品を組み合わせることで、より便利にご使用いただけます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の

付録／困ったときには

取扱説明書などをご覧ください。

- AC アダプタ HW01
- 電池パック HW02
- リアカバー HW02
- 保護カバー HW01（ブルー／ピンク／イエロー）
- ポケットチャージャー 01
- FOMA 補助充電アダプタ 02 ※

※：HW-02C と接続するには、付属の microUSB ケーブルが必要です。

故障かな？と思ったら

まずはじめに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。
（ソフトウェア更新⇒ P100 参照）

気になる症状のチェック項目を確認しても症状が改善されないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」または、ドコモ指定の故障取扱窓口までお気軽にご相談ください。

◆電源

FOMA 端末の電源が入らない

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- 電池切れになっていませんか。

FOMA 端末の電源が切れない

- 防犯ブザースイッチが引き出されているときは、電源を OFF にすることができません。

◆充電

充電ができない

ランプが点灯しない、または点滅する

- 電池パックが正しく取り付けられていますか。
- アダプタの電源プラグがコンセントに正しく差し込まれていますか。
- 付属の microUSB ケーブルのコネクタが付属の AC アダプタまたは FOMA 端末にしっかりと接続されていますか。
- 充電しながら通話や通信、その他機能の操作を長時間行うと、FOMA 端末の温度が上昇してランプが点滅する場合があります。その場合は、FOMA 端末の温度が下がってから再度充電を行ってください。

◆FOMA 端末の操作

操作中・充電中に熱くなる

- 操作中や充電中、また、充電しながら電話を長時間行った場合などには、FOMA 端末や電池パック、アダプタが温かくなることがありますが、安全上問題ありませんので、そのままご使用ください。

電池の使用時間が短い

- 圏外の状態で長時間放置されるようなことはありませんか。圏外時は通信可能な状態にできるよう電波を探すため、より多くの電力を消費しています。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や劣化度により異なります。
- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1 回で使える時間が次第に短くなっていきます。十分に充電しても購入時に比べて使用時間が極端に短くなった場合は、指定の電池パックをお買い求めください。

電源断・再起動が起きる

- 電池パックの端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。汚れたときは、電池パックの端子を乾いた綿棒などで拭いてください。

ボタンを押しても動作しない

- キーロックを設定していませんか。

ボタンを押したときの画面の反応が遅い

- FOMA 端末に大量のデータが保存されているときに起きる場合があります。

ドコモ UIM カードが認識しない

- ドコモ UIM カードを正しい向きで挿入していますか。

時計がずれる

- 長い間電源を入れた状態にしていると時計がずれる場合があります。自動時刻補正が設定されているかを確認し、電波のよい場所で電源を入れ直してください。

キーを押しても発信できない

- キーロックを設定していませんか。

着信音が鳴らない

- マナーモードを起動していませんか。
- 電話着信音の音量設定を「0」にしていませんか。

通話ができない

場所を移動しても「圏外」の表示が消えない

電波の状態は悪くないのに発信または着信ができない

- 電源を入れ直すか、電池パックまたはドコモ UIM カードを入れ直してください。
- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でも発信や着信ができない場合があります。場所を移動してかけ直してください。
- 電波の混み具合により、多くの人が集まる場所では電話やメールが混み合い、つながりにくい場合があります。その場合は「ネットワークがせいげんされています」と表示され、話中音が流れます。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる

- 受話音量を変更していませんか。
- スピーカーホンが起動していませんか。

メールを自動で受信しない

- 電波の性質により、「圏外ではない」「電波状態は を表示している」状態でもメールを受信ができない場合があります。

◆海外利用

海外で FOMA 端末が使えない

- 本製品は日本国内でのみ使用可能です。

◆GPS 機能

現在地通知ができない

- GPS 圏外の場合、現在地通知はできません。GPS を受信できる場所に移動してから、再度操作してください。

- イマドコサーチを利用される場合は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。
- 通知先でエラーが発生した場合、現在地通知できない場合があります。

こんな表示が出たら

本FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

宛先をご確認ください
- 相手先の番号を確認してください。

書換え処理が開始できません。充電完了後に再度更新してください。
- 電池残量が少ないため、操作を中断しました。充電してから、操作し直してください。

圏外のため書換え処理を開始できませんでした
- 圏外のため、操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。

圏外のため起動できません。圏内に戻った後、再度実行してください。
- 圏外のため、操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。

圏外のため接続が中断されました。圏内に戻った後、再度更新してください。
- 圏外のため、操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。

更新の必要はありません。このままお使いください。
- 既に最新のソフトウェアにバージョンアップされています。

このカードは利用できません
- ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。ドコモUIMカードを確認してください。→P22

この通知先IDはご利用になれません
- 現在地通知先設定に使用できない番号が登録されています。相手先の番号を確認してください。また、110、119、118は通知先として使用できません。

この番号は選択できません。他の通知先を選択してください
- 防犯ブザー連動電話発信先に110、119、118は使用できません。

サービス未提供です
- ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。ドコモUIMカードを確認してください。→P22

システムオーバーヒート
- 本FOMA端末では、充電中や使用中に本体が高温になった場合、安全のため自動的に電源がオフになります。充電中の場合は、付属のACアダプタを取り外して、本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度充電を行ってください。充電中以外の場合は、操作を中断して本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度操作を行ってください。

しばらくおまちください

- 既に実行中の操作があるため、実行中の操作が完了するまで、しばらくお待ちください。

受信を拒否されました

- メールの送信に失敗しました。再度メールの送信を行ってください。

既に接続中です

- 既に通信中の操作があるため、実行中の操作が完了するまで、しばらくお待ちください。

既にダウンロード中です

- 既にダウンロード中の操作があるため、実行中の操作が完了するまで、しばらくお待ちください。

既にメッセージをお預かりしています

- メールの送信に失敗しました。再度メールの送信を行ってください。

接続に失敗しました

- ソフトウェアの更新に失敗しました。再度、操作し直してください。

送信を拒否されました

- メールの送信に失敗しました。再度メールの送信を行ってください。

そうしんできませんでした

- メールの送信に失敗しました。再度メールの送信を行ってください。
- 位置情報の送信に失敗しました。再度、操作し直してください。

ソフトウェア更新に失敗しました

- ソフトウェアの更新に失敗しました。再度、操作し直してください。

ソフトウェア更新予定時刻に電源が入っていませんでした。

- ソフトウェアの更新予定時刻に電源が入っていませんでした。「OK」をクリックした後、時間設定画面が表示されますので、更新時刻を設定してください。

端末が熱くなった為、操作を中断します。しばらくたってからご利用ください。

- 本 FOMA 端末では、充電中や使用中に本体が高温になった場合、安全のため自動的に電源がオフになります。充電中の場合は、AC アダプタを取り外して、本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度充電を行ってください。充電中以外の場合は、操作を中断して本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度操作を行ってください。

つうしんエラーがはっせいしました

- 通信エラーが発生したため操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。

つうちさきがありませんでした

- 使用できない通知先 ID が登録されています。相手先の通知先 ID を確認してください。
- 防犯ブザー起動時(P62)、電源 OFF 検索(P72)、ちょこっと通知(P69)など、イマドコサーチを利用した操作をする場合（P66）は、あらかじめ探される側の設定が必要です。探される側の設定が未設定の場合、メッセージが表示され、動作が中断されます。探される側の設定は、ドコモショップで変更いただくか、ドコモのホームページなどをご覧ください。

でんげんをきります

- 本FOMA端末では、充電中や使用中に本体が高温になった場合、安全のため自動的に電源がオフになります。充電中の場合は、ACアダプタを取り外して、本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度充電を行ってください。充電中以外の場合は、操作を中断して本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度操作を行ってください。

でんちがあつくなっています

- 充電中の場合は、ACアダプタを取り外して、本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度充電を行ってください。充電中以外の場合は、操作を中断して本体の温度が低下したことをご確認いただき、再度操作を行ってください。

ドコモUIMカードがありません

- ドコモUIMカードが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない、または異常があります。

ドコモUIMカードが挿入されていません

- ドコモUIMカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。ドコモUIMカードを確認してください。→P22

ドコモUIMカードが完全にロックされています

- このドコモUIMカードを使えません。ドコモショップ窓口までお問い合わせください。

ネットワークがせいげんされています

- 圏外のため、操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。
- 電波が混み合っているため通話できません。場所を移動するか、時間をずらしてかけ直してください。

ネットワークにせつぞくできませんでした

- 圏外のため、操作を中断しました。電波状態の良い所で、操作し直してください。

ばんごうがちがいます

- 使用できない番号が登録されています。相手先の番号を確認してください。

ファイルエラー

- ソフトウェアの更新に失敗しました。再度、操作し直してください。

他の端末でドコモUIMカードのPINコードを解除してからご使用ください

- 他のFOMA端末で、PINコードを解除してから、本FOMA端末に挿入してご使用ください。→P22

他の端末でSMSセンター設定を確認してから使用してください

- ドコモ総合案内にお問い合わせください。→P47

メモリ空き容量不足により、ソフトウェア更新を起動できませんでした

- ドコモ総合案内にお問い合わせください。→P47

利用できないカードが挿入されているため、起動できませんでした。

- ドコモUIMカードが取り付けられていないか、正しく取り付けられていない、または異常があります。

保証とアフターサービス

保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および「販売店名・お買い上げ日」などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによって電話帳などに登録された内容が変化・消失する場合があります。万が一に備え、電話帳などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。

アフターサービスについて

◆調子が悪い場合

- 修理を依頼される前に、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら」をご覧になってお調べください。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」にご連絡の上、ご相談ください。

◆お問い合わせの結果、修理が必要な場合

- ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。なお、故障の状態によっては修理に日数がかかる場合がございますので、あらかじめご了承下さい。

◆保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良（ディスプレイ・コネクタなどの破損）による故障・損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。

◆以下の場合は、修理できないことがあります。

- 故障取扱窓口にて水濡れと判断した場合（例：水濡れシールが反応している場合）
- お預かり検査の結果、水濡れ、結露・汗などによる腐食が発見された場合や内部の基板が破損・変形していた場合（充電端子・ディスプレイなどの破損や筐体亀裂の場合においても修理ができない可能性があります）

  ※修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

◆保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

付録／困ったときには

◆部品の保有期間は

・ FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面の「故障お問い合わせ先」へお問い合わせください。

◆お願い

●FOMA端末および付属品の改造はおやめください。

・ 火災・けが・故障の原因となります。
・ 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
・ 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  ・ ディスプレイ部やボタン部にシールなどを貼る
  ・ 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  ・ 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
  ・ 改造が原因による故障・損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。

●FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。

・ 銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。

●各種機能の設定などの情報は、FOMA端末の故障・修理やその他お取り扱いによってクリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、この場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。

●FOMA端末の下記の箇所に磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

・ 使用箇所：スピーカー、受話口部

●FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまった場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によって修理できないことがあります。

◆メモリダイヤル（電話帳機能）およびダウンロード情報などについて

FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータが変化・消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

※ FOMA端末に保存されたデータの容量により、移し替えに時間がかかる場合もしくは移し替えができない場合がございます。

ソフトウェア更新

FOMA端末のソフトウェアを更新する必要があるかどうかネットワークに接続してチェックし、必要な場合にはパケット通信※を使ってソフトウェアの一部をダウンロードし、ソフトウェアを更新する機能です。
ソフトウェア更新が必要な場合は、ドコモのホームページでご案内させていただきます。

※ソフトウェア更新を行う場合のパケット通信料は無料です。

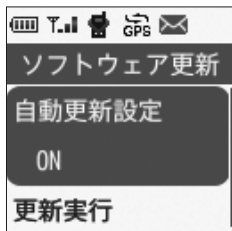
ソフトウェア更新の自動更新設定

1 待受画面で MENU ⇒ （設定／サービス）を選択

2 暗証番号を入力 ⇒ MENU（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択

4 「ソフトウェア更新」を選択 ⇒ 「自動更新設定」を選択

ソフトウェア更新
自動更新設定
ON
更新実行

5 「ON」または「OFF」を選択

自動更新設定
ON
OFF

ON →自動更新設定：ソフトウェアの更新が必要なときに、自動的にソフトウェアが更新されます。

OFF →ソフトウェアの更新を手動で確認して、必要に応じて実行します。

6 ■ で設定した内容を保存

設定した内容を保存しない場合は、CLR を押します。

ソフトウェア更新が開始されると

サーバからソフトウェア更新通知を受信すると、自動的に更新準備が行われ、ソフトウェアの書き換え処理の予定時刻を表示した予告画面が表示されます。

- 「ＯＫ」を選択すると、予定時刻にソフトウェアの書き換えを行います。
- 「開始時刻変更」を選択すると、書き換え時刻を任意の時刻に変更できます。
- 「今すぐ開始」を選択すると、すぐにソフトウェアの書き換えを開始します。

ソフトウェア更新の起動

1 待受画面で［MENU］⇒［設定/サービス］（設定／サービス）を選択

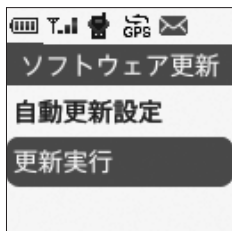
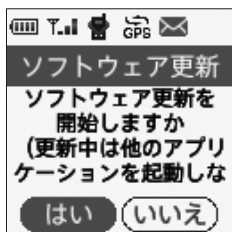
2 暗証番号を入力 ⇒［MENU］（確定）を押す

3 「設定／サービス」画面で「その他」を選択

4 「ソフトウェア更新」を選択 ⇒「更新実行」を選択

ソフトウェア更新
自動更新設定
更新実行

5 確認画面で「はい」を選択

ソフトウェア更新
ソフトウェア更新を開始しますか
(更新中は他のアプリケーションを起動しな
はい　いいえ

お知らせ

- ソフトウェア更新中は電池パックを絶対に外さないでください。
- ソフトウェア更新は、FOMA 端末に登録された電話帳などのデータを残したまま行えますが、お客様の FOMA 端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態（P26）で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - ・ドコモ UIM カードが挿入されていないとき
  - ・電池がフル充電されていないとき
  - ・電源が切れているとき
  - ・圏外が表示されているとき
  - ・日付・時刻を設定していないとき
  - ・通話中
  - ・他の機能を実行しているとき
  - ・キーロック中
  - ・メモリの空き容量が不足しているとき
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。

主な仕様

◆本体

品名		HW-02C
サイズ		高さ：約 92mm 幅：約 47mm 厚さ：約 16.3mm （最厚部：約17.1mm）
質量		約 75g （電池パック装着時）
連続待受時間 ※1、2		静止時：約 400 時間 移動時：約 350 時間
連続通話時間 ※2、3		約 220 分
充電時間※4		約 150 分
液晶部	方式	カラー TFT 262,144 色
	サイズ	約 1.4inch
	画素数	128 × 128

※ 1. 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA 端末が電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA 端末が電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※ 2. メールの作成、ソフトウェアの更新、ブザーを鳴らすなどを行うと連続待受時間、連続通話時間は短くなります。

※ 3. 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※ 4. 充電時間とは、FOMA 端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA 端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

◆電池パック

品名	電池パック HW02
使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	3.7V
公称容量	900mAh

FOMA 端末の保存・登録件数

でんわちょう	10 件
もらったメール	20 件
おくったメール	20 件
ほぞんメール	20 件
エリアメール	10 件
うけたでんわ	20 件
かけたでんわ	20 件
ばしょのりれき	20 件
メール定形文 （保存済み／変更不可）	33 件

携帯電話の比吸収率（SAR）

FOMA端末の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。
この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準（※1）ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。
国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.429W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。
携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用するなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属部分が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します（※2）。

世界保健機関は、モバイル機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。もし個人的に心配であれば、通話時間を抑えたり、頭部や体から携帯電話機を離して使用することができるハンズフリー用機器を利用しても良いとしています。
さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/sar/

華為技術日本株式会社のホームページ
http://www.huaweidevice.com/worldwide/index.html
上記URLよりHW-02Cをご検索ください。
URLは予告なく変更される場合があります。

※ 1. 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第 14 条の 2）で規定されています。

※ 2. 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合の SAR の測定法については、平成 22 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されましたが、国の技術基準については、情報通信審議会情報通信技術分科会に設置された電波利用環境委員会にて審議している段階です。（平成 23 年 10 月現在）

輸出管理規制

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。本製品及び付属品を輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省へお問合せください。

知的財産権

商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「イマドコサーチ」「キッズケータイ」「エリアメール」は NTT ドコモの商標または登録商標です。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

索引

索引

ご契約内容の確認・変更、各種サービスのお申込、各種資料請求をオンライン上で承っております。

パソコンから　My docomo (http://www.mydocomo.com/) ⇒ 各種お申込・お手続き

※ ご利用になる場合、「docomo ID ／パスワード」が必要となります。
※「docomo ID ／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ ご契約内容によってはご利用になれない場合があります。
※ システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

●こんな場合は必ず電源を切りましょう●

■使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。

※医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与える恐れがあります。

■運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。ただし、傷病者の救護または公共の安全の維持など、やむを得ない場合を除きます。

■劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

●使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう●

■レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末を使用する場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA 端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

【マナーモード】→P.87
ボタン確認音・着信音など FOMA 端末から鳴る音を消します。

マナーもいっしょに携帯しましょう。
○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際は、回収・リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先 〈ドコモ インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) 151 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　午前9：00〜午後8：00（年中無休）

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合
(局番なしの) 113 (無料)
※一般電話などからはご利用になれません。
■一般電話などからの場合
0120-800-000
※一部のIP電話からは接続できない場合があります。
受付時間　24時間（年中無休）

●番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。
●各種手続き、故障・アフターサービスについては、上記お問い合わせ先にご連絡いただくか、ドコモホームページにてお近くのドコモショップなどにお問い合わせください。
ドコモホームページ　http://www.nttdocomo.co.jp/

あんしん docomo

ドコモ「あんしん」ミッション
みんなが、安心を、携帯できる世の中へ。

VEGETABLE OIL INK

Li-ion 00
環境保全のため、不要になった電池はNTTドコモまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。

販売元　株式会社NTTドコモ
製造元　HUAWEI TECHNOLOGIES CO., LTD.

2011.12（2.1 版）